令和６年２月吉日

生徒・保護者各位

学校法人仙台育英学園

理事長　　加藤　雄彦

令和５年度 学校評価の結果について（ご報告）

早春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本学園の学校評価委員会は、昨年１０月に学校評価に関するアンケート調査を実施いたしました。その際、生徒並びに保護者の皆様にご協力をたまわり誠にありがとうございました。

そして、この結果及び分析・考察につきまして、生徒対象・保護者対象の代表的な質問項目に絞り、HP に掲載をいたしましたので、是非ご一読をお願いいたします。

今後ともこの学校評価（アンケート調査）を継続して実施いたします。また、今回の評価結果につきましては、全教職員で共有し、本学園の教育活動の改善に有効活用しながら、生徒並びに保護者の皆様のご意向に応えられるよう努力して参ります。

調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース

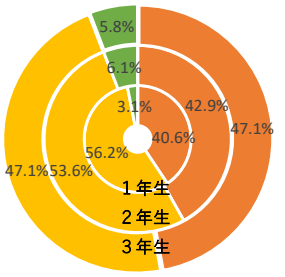
（1）生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。



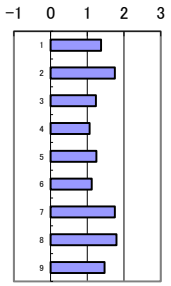
【分析・考察】

○大学受験に向けて英語をはじめとする外部試験の結果が必要となる。個別での面談を繰り返して進路選択の助言をしていることが、特に３学年での結果に表れているものと思う。（A-8）
○各種資格試験に対応できるのみならず、MYP集大成のPPやDP取得に向けた学習のため、質問や相談に応じる点でも生徒の満足度は高い。（A-11）
○IBDPの大学入試は一人ひとりの選択が全く異なり、進路に関する指導は個別対応が求められる。教員が生徒の多様性に応じてきめ細かい指導をしてきたことが功を奏している。今後も丁寧に指導していきたい。

【表A】

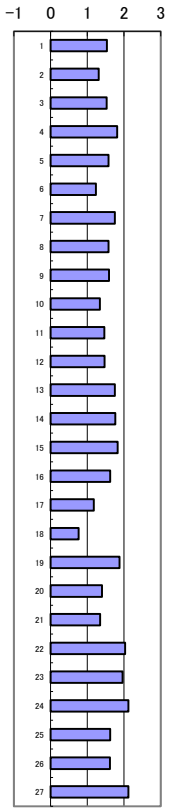
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	28.1%	62.5%	9.4%	0.0%	1.4
		2年生	35.7%	71.4%	3.6%	0.0%	1.7
		3年生	23.5%	76.5%	5.9%	5.9%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	25.0%	53.1%	21.9%	0.0%	1.1
		2年生	21.4%	75.0%	14.3%	0.0%	1.2
		3年生	11.8%	82.4%	5.9%	0.0%	1.1
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	40.6%	56.3%	3.1%	0.0%	1.8
		2年生	46.4%	46.9%	6.3%	0.0%	1.8
		3年生	35.3%	52.9%	11.8%	0.0%	1.5



Ⅱ 教育課程について

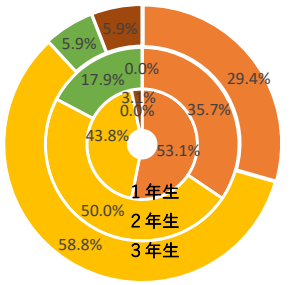
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	34.4%	56.3%	6.1%	0.0%	1.5
		2年生	25.0%	62.5%	6.1%	0.0%	1.3
		3年生	47.1%	47.1%	0.0%	11.8%	1.5
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	40.6%	59.4%	0.0%	0.0%	1.8
		2年生	32.1%	67.9%	6.1%	0.0%	1.6
		3年生	23.5%	64.7%	11.8%	0.0%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	43.8%	50.0%	6.6%	0.0%	1.7
		2年生	39.3%	57.1%	6.1%	3.6%	1.6
		3年生	35.3%	58.8%	5.8%	0.0%	1.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	34.4%	46.9%	15.6%	0.0%	1.3
		2年生	35.7%	50.0%	10.7%	0.0%	1.5
		3年生	35.3%	52.9%	11.8%	0.0%	1.5
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	40.6%	56.2%	3.1%	0.0%	1.7
		2年生	42.9%	53.6%	6.1%	0.0%	1.8
		3年生	47.1%	47.1%	5.8%	0.0%	1.8
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	37.5%	59.4%	0.0%	3.1%	1.6
		2年生	28.6%	57.1%	14.3%	3.6%	1.2
		3年生	23.5%	47.1%	23.5%	5.8%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	43.8%	56.2%	0.0%	0.0%	1.9
		2年生	25.0%	71.4%	6.1%	0.0%	1.4
		3年生	29.4%	58.8%	11.8%	0.0%	1.4
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	56.3%	40.6%	6.6%	0.0%	2.0
		2年生	53.6%	46.4%	0.0%	3.6%	2.0
		3年生	58.8%	52.9%	0.0%	5.8%	2.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	37.5%	56.3%	6.6%	0.0%	1.6
		2年生	42.9%	50.0%	6.1%	3.6%	1.6
		3年生	52.9%	58.8%	5.8%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.16）
育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。

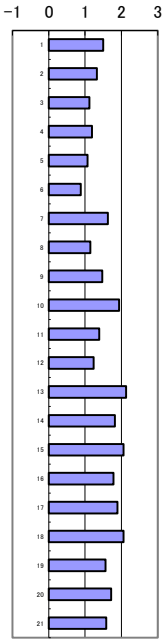


【分析・考察】

○秀光祭は互いの努力にエールを送っていた。それぞれの学年が少ない時間の中で、懸命に準備を重ね、当日の発表においてもすばらしい成果を上げたことを認め合った結果だと思う。保護者のゼルコバへの来場も3年ぶりに通常通り行った。成果発表の場として好意的に受け止められている。（B-16）
○新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザに対しても感染拡大予防対策としても、適切にオンライン授業を取り入れる学校の対応に満足していると考えられる。（B-19）

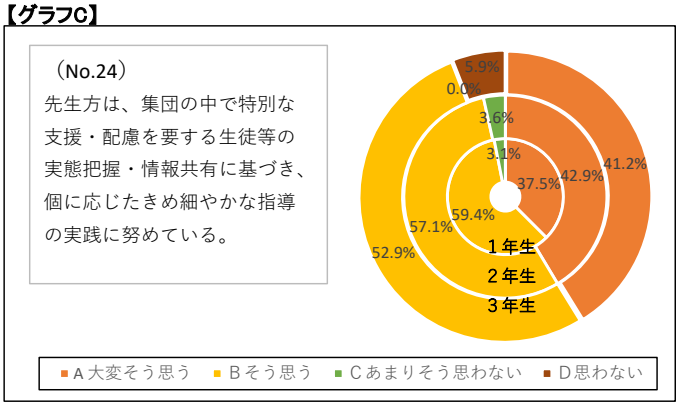
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%	1.5
		2年生	28.6%	64.3%	7.1%	3.6%	1.3
		3年生	17.6%	70.6%	11.8%	0.0%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	25.0%	62.5%	9.4%	3.1%	1.2
		2年生	25.0%	57.1%	14.3%	3.6%	1.1
		3年生	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%	0.9
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	34.4%	62.5%	3.1%	0.0%	1.6
		2年生	25.0%	64.3%	3.6%	7.1%	1.1
		3年生	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	53.1%	43.8%	0.0%	3.1%	1.9
		2年生	35.7%	50.0%	17.9%	0.0%	1.4
		3年生	29.4%	58.8%	5.9%	5.9%	1.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%	2.1
		2年生	46.4%	50.0%	7.1%	0.0%	1.8
		3年生	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	50.0%	40.6%	3.1%	3.1%	1.8
		2年生	50.0%	46.4%	7.1%	0.0%	1.9
		3年生	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	2.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	34.4%	59.4%	6.1%	0.0%	1.6
		2年生	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	1.7
		3年生	35.1%	58.8%	5.9%	0.0%	1.6



C　その他

【グラフC】



【分析・考察】

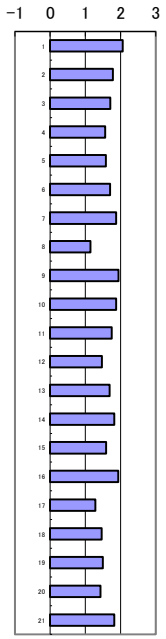
○教員が個に応じた指導を徹底できていることで、生徒との人間関係が良好であることを示していると思う。生徒たちが安心して学校生活に取り組んでいると捉えられる。(C-24)

○秀光コース・中学校の教員間のアットホームな雰囲気が生徒にも安心感を与えていると考えられる。

○全体的には高い評価であるが、低学年に少数ではあるが「C」の回答も見られるため、今後も丁寧に生徒一人一人に対応していきたい。

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	56.3%	40.6%	3.1%	0.0%	2.1
		2年生	46.4%	46.4%	7.1%	0.0%	1.8
		3年生	47.1%	47.1%	0.0%	5.9%	1.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	34.4%	59.4%	6.3%	0.0%	1.6
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	7.1%	1.6
		3年生	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	1.7
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%	1.9
		2年生	28.6%	42.9%	3.6%	3.6%	1.1
		3年生	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	46.9%	50.0%	3.1%	0.0%	1.9
		2年生	39.3%	60.7%	3.6%	0.0%	1.8
		3年生	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	37.5%	59.4%	3.1%	0.0%	1.7
		2年生	42.9%	57.1%	3.6%	0.0%	1.8
		3年生	41.2%	52.9%	0.0%	5.9%	1.6
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	50.0%	46.9%	3.1%	0.0%	1.9
		2年生	28.6%	46.4%	3.6%	0.0%	1.3
		3年生	35.1%	52.9%	11.8%	0.0%	1.5
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%	1.5
		2年生	42.9%	28.6%	3.6%	3.6%	1.4
		3年生	47.1%	47.1%	5.9%	0.0%	1.8



調査結果と考察

1 秀光中学校・秀光コース

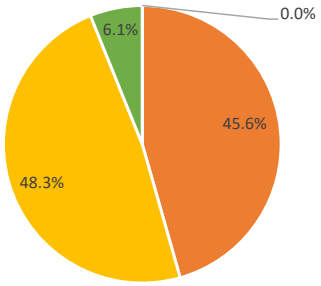
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×３＋B度数×１＋C度数×（－１）＋D度数×（－３）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.12）
本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。



【分析・考察】

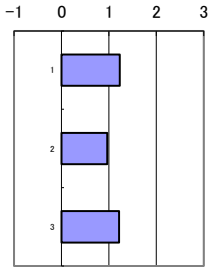
○学級担任が対応している「面談」学年が対応している「教育懇談会」ともに、保護者から高い評価を受けている。その要因としては、生徒の成長に焦点を当てつつ、さらなる向上のための指導方針を明確に伝えるとともに、保護者の要望等への傾聴に努めた面談の実施、スライドを用意するなど分かりやすい情報提供とオンラインでの対応も含めた多様な情報発信による懇談会実施がある。そして、その根底にあるのが、生徒の悩みや困り感、保護者の声を、正面で受け止め誠実かつ丁寧に対応している秀光教員の日常的な取組であると考える。

○これまで以上に、生徒・保護者への寄り添いを大切にし、一層強固な信頼関係の構築に努めたい。

【表A】

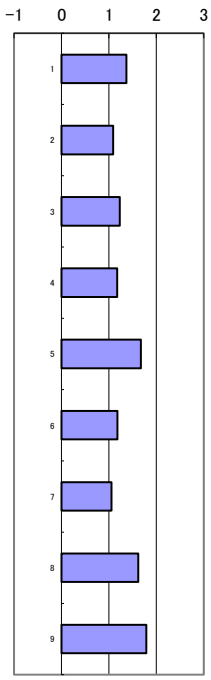
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	21.1%	69.3%	9.6%	0.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	17.5%	63.2%	19.3%	0.0%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	26.8%	59.8%	10.7%	2.7%	1.2



Ⅱ 教育課程について

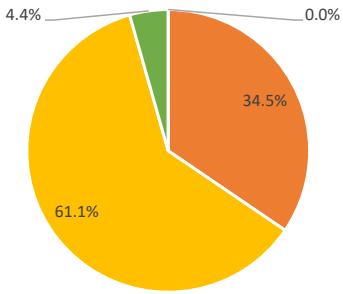
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	31.0%	58.4%	8.8%	1.8%	1.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	19.6%	67.0%	11.6%	1.8%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	23.0%	66.4%	9.7%	0.9%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	27.4%	54.0%	18.6%	0.0%	1.2
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	39.0%	56.6%	3.5%	0.9%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	26.8%	58.0%	12.5%	2.7%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	16.8%	71.7%	8.9%	2.6%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	41.6%	48.7%	8.8%	0.9%	1.6
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	45.6%	48.3%	6.1%	0.0%	1.8



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.15）
本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。



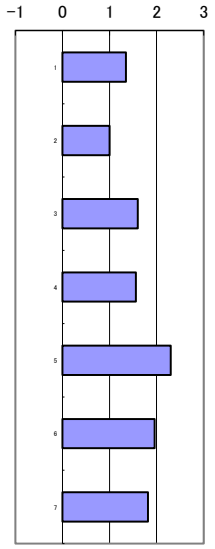
【分析・考察】

○秀光中学校・秀光コースでは、多彩な行事がプログラムされている。これらの魅力的な行事の活動メニューからボランティア活動にあたるものやボランティア活動に発展させられるものを洗い出し、MYPにおけるSL（サービス・ラーニング）に結び付けていくことで、一層の充実を図っていくことが期待される。（B-15）

○日常の清掃活動を重視するとともに、中学校は道徳の学習も絡めて、継続的に生徒の心の育成に努めていきたい。

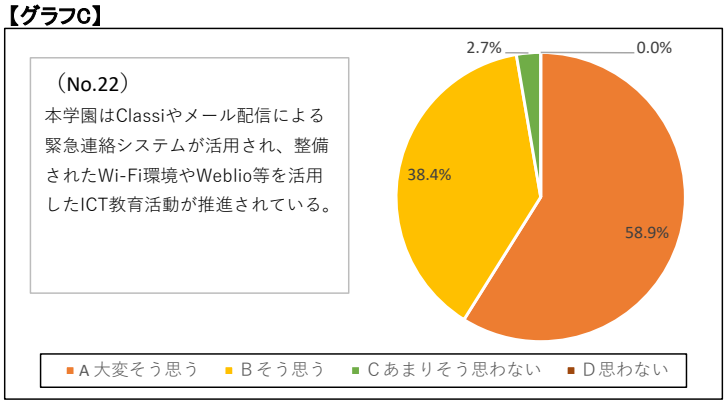
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	29.8%	58.8%	10.5%	0.9%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	17.7%	64.6%	17.7%	0.0%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	34.5%	61.1%	4.4%	0.0%	1.6
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	39.5%	49.1%	11.4%	0.0%	1.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	68.4%	28.1%	3.5%	0.0%	2.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	54.0%	40.7%	4.4%	0.9%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	44.3%	52.2%	3.5%	0.0%	1.8



C　その他

【グラフC】



【分析・考察】

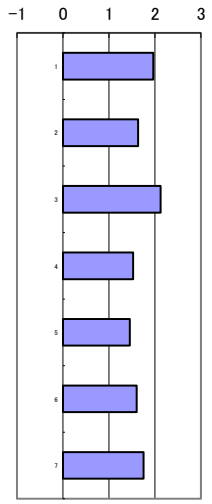
○生徒はOWNPCを用意し、快適なwi-fi環境が整った優れた学習環境の中で日々の授業に臨み成長を遂げている。そのことを保護者も高く評価していることが伺える。（C-22）

○Classiは、生徒と教員、保護者と教員をつなぐよきツールになっており、各学年で有効に活用され、信頼関係構築の一助となっている。

○保護者の高評価の陰には、勤務時間外や週休日にClassi対応をしている教員がいることを忘れてはならない。難しい問題ではあるが、管理職としてバランスを図っていくことが課題である。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	55.3%	37.7%	7.0%	0.0%	2.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	40.7%	51.3%	7.1%	0.9%	1.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	58.9%	38.4%	2.7%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	38.6%	49.1%	12.3%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	38.6%	46.5%	14.0%	0.9%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	36.3%	57.5%	6.2%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	42.0%	53.6%	4.4%	0.0%	1.8



調査結果と考察

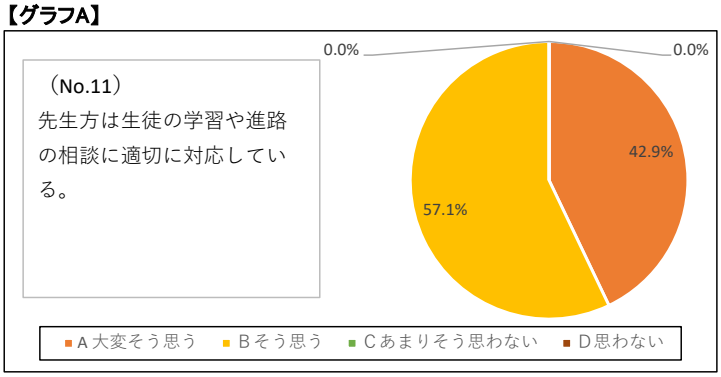
1 秀光中学校・秀光コース

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

（3）教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



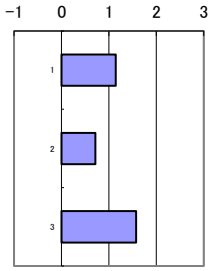
【分析・考察】

○教員の中に、個々の生徒に応じたきめ細やかな指導・支援に努めようとする意識が高まっている。IB教育の理念が浸透している大きな成果といえる。（A-11）
○IBDPを履修している生徒は、日常的に執務室の相談スペース等で個別指導を受けている。
○生徒、保護者、教員で大きな乖離がないことから、秀光教員の強みであるといえる。それだけに今後の研鑽に励み、教員それぞれが指導の質を高めていく必要がある。

【表A】

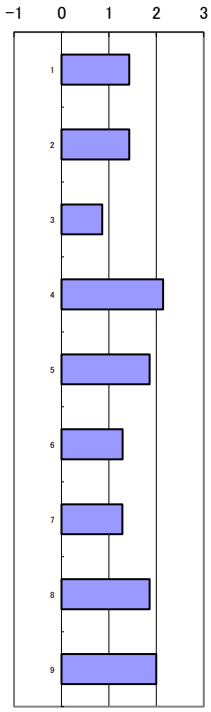
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	14.3%	78.6%	7.1%	0.0%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	7.2%	71.4%	21.4%	0.0%	0.7
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	35.7%	57.2%	7.1%	0.0%	1.6



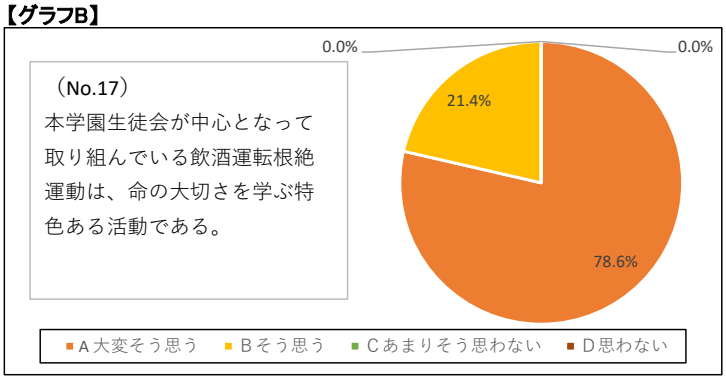
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	1.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	0.0%	92.9%	7.1%	0.0%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	2.1
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	1.9
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	28.6%	64.3%	0.0%	7.1%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	1.3
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	1.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

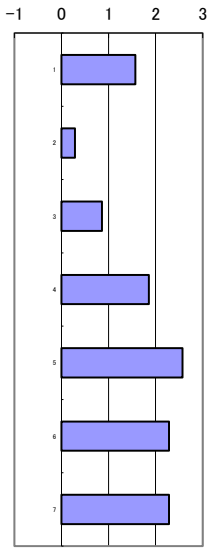


【分析・考察】

○かつての痛ましい飲酒運転事故、その悲しみと憤りを風化させないために、本学園が取り組んでいる飲酒運転根絶運動のもつ意義は、大きいという認識を全教員が共有している。（B-17）
○生徒にも浸透してきており、飲酒運転根絶に限らず規範意識を高めるよき機会にもなっている。
○この運動の一環として実施している「ジョイントコンサート」はハイレベルなものであり、運動の推進だけではなく、生徒の情操を育む機会にもなっている。
○秋に県警を講師に招いて実施している「命を大切にする教育」との関連を図り、効果を高める必要がある。

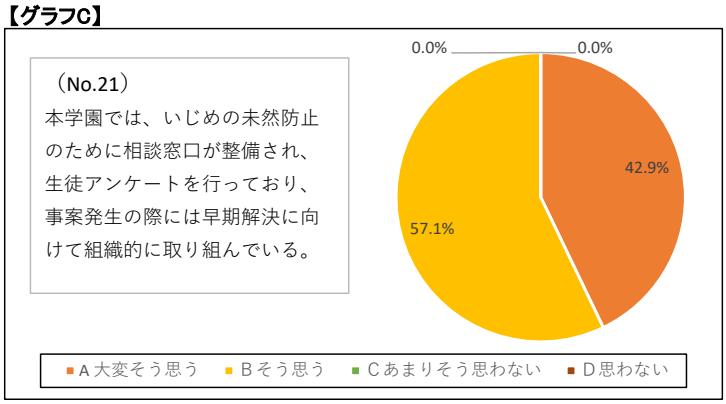
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	35.7%	57.2%	7.1%	0.0%	1.6
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	14.3%	42.9%	35.7%	7.1%	0.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	21.4%	57.2%	14.3%	7.1%	0.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	1.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	2.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	2.3



C　その他

【グラフC】



【分析・考察】

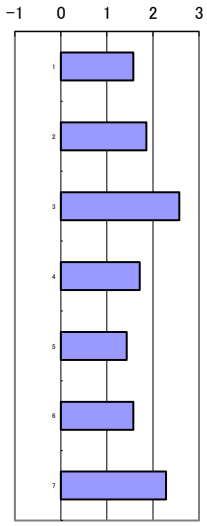
○いじめ問題への対応については、定期的なアンケートを実施しているが、それはあくまでも副であり、主は教師の見取りである。そのためには生徒と共に活動すること（生徒との場と時間の共有）が不可欠であるという認識をさらに深めたい。（C-21）

○各学年ともに、迅速かつ組織的な対応で、いじめを芽の段階で摘み取ることに努めており成果をあげている。

○中学校段階では、道徳の授業の時数確保に努めるとともに生徒の心を揺さぶり心を耕す時間にしていく必要がある。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	50.0%	28.6%	21.4%	0.0%	1.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	1.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	2.6
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%	1.7
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	35.7%	57.2%	7.1%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	2.3



調査結果と考察

2 特別進学コース

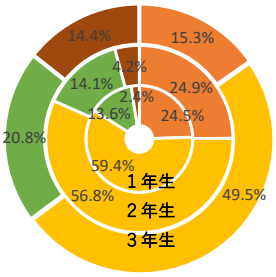
（1）生徒対象

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総数）

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.１）
授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。



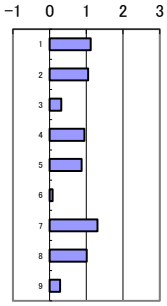
■A大変そう思う ■Bそう思う ■Cあまりそう思わない ■D思わない

【分析・考察】
○全体的にみると、「Ⅰ 授業について」に関する項目No.1～3のすべてにおいて、昨年度の数値より改善が見られる。特にオンライン授業に関して顕著である。オンライン授業の導入期間が延びるに伴って教員による工夫が進んでいることが分かる。（A-1）
○No.8 の項目に関して、昨年同様評価値が最も高くなっている。特別進学コースでは、WeblioやTEEPなどを行うことで資格取得率の向上を図るなどさまざまな工夫を行っている。こうした取り組みを生徒たちもよく理解していることが、この高い評価に繋がっている。
○No.12の項目に関しても、肯定的な意見が高く、「面談」や「教育懇談会」が評価されていることが分かる。今後内容の精査や資料の工夫などを行い、更なる改善を勧めたい。

【表A】

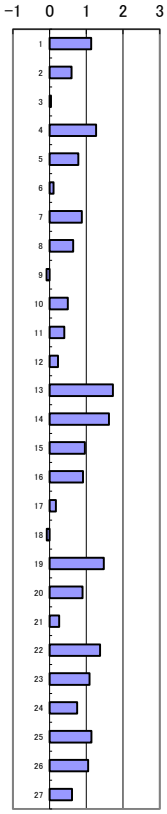
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	24.5%	59.4%	13.6%	2.4%	1.1
		2年生	24.9%	56.8%	14.1%	4.2%	1.0
		3年生	15.3%	49.5%	20.8%	14.4%	0.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	21.0%	57.0%	20.6%	1.4%	1.0
		2年生	22.1%	54.0%	19.2%	4.7%	0.9
		3年生	13.4%	44.9%	24.1%	17.6%	0.1
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	29.1%	57.9%	11.9%	1.1%	1.3
		2年生	23.9%	57.7%	13.1%	5.2%	1.0
		3年生	16.7%	48.1%	18.1%	17.1%	0.3



Ⅱ 教育課程について

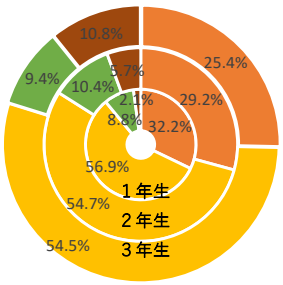
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	27.4%	54.0%	16.5%	2.1%	1.1
		2年生	16.9%	57.3%	14.6%	11.3%	0.6
		3年生	13.0%	46.3%	20.4%	20.4%	0.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.7%	61.4%	10.5%	1.4%	1.3
		2年生	18.5%	58.8%	16.1%	6.6%	0.8
		3年生	12.6%	50.2%	17.2%	20.0%	0.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	22.8%	53.0%	19.6%	4.6%	0.9
		2年生	16.1%	56.9%	19.9%	7.1%	0.6
		3年生	10.2%	44.0%	27.3%	18.5%	−0.1
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	17.9%	48.8%	23.5%	9.8%	0.5
		2年生	18.0%	46.9%	22.3%	12.8%	0.4
		3年生	16.2%	48.6%	15.7%	19.4%	0.2
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	41.8%	53.3%	4.2%	0.7%	1.7
		2年生	41.0%	50.9%	5.7%	2.4%	1.6
		3年生	28.2%	52.3%	8.8%	10.6%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	25.6%	50.5%	17.5%	6.3%	0.9
		2年生	15.6%	44.3%	23.1%	17.0%	0.2
		3年生	13.0%	43.1%	21.3%	22.7%	−0.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	30.9%	62.8%	5.6%	0.7%	1.5
		2年生	21.2%	58.0%	15.1%	5.7%	0.9
		3年生	15.3%	50.9%	15.3%	18.5%	0.3
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	29.5%	60.4%	9.5%	0.7%	1.4
		2年生	27.8%	53.8%	13.2%	5.2%	1.1
		3年生	21.8%	55.6%	11.1%	11.6%	0.8
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	23.6%	62.3%	11.6%	2.5%	1.1
		2年生	21.7%	62.7%	11.8%	3.8%	1.0
		3年生	16.3%	57.7%	16.3%	9.8%	0.6



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.１９）
本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。

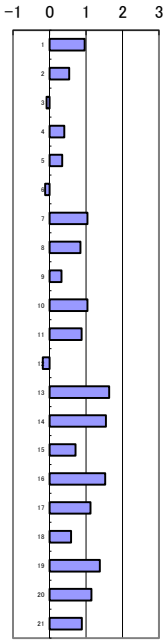


■A大変そう思う ■Bそう思う ■Cあまりそう思わない ■D思わない

【分析・考察】
○No.13～19までのすべての項目に関して、肯定的な意見が増えている。今年度、一つひとつの行事に関して各学年、各担任が丁寧にその趣旨を説明してきた効果が出ているものと思われる。今後とも生徒たちに丁寧に説明を加えながら、さまざまな行事を生徒、教員が協力しながら作り上げていく土壌を作っていきたい。（B-19）
○昨年度に引き続きNo.17の項目が最も高い評価であった。
毎年5月22日に、多賀城校舎で全コースの1年生が毎年追悼行事を行っているが、当該学年に限らず評価が高いことを考えると、こうした行事が生徒たちの心の中に大きな形となって残っていることが分かる。
○今後ともこうした行事を大切にしながら、生徒たちの心を育てる教育を行っていきたい。

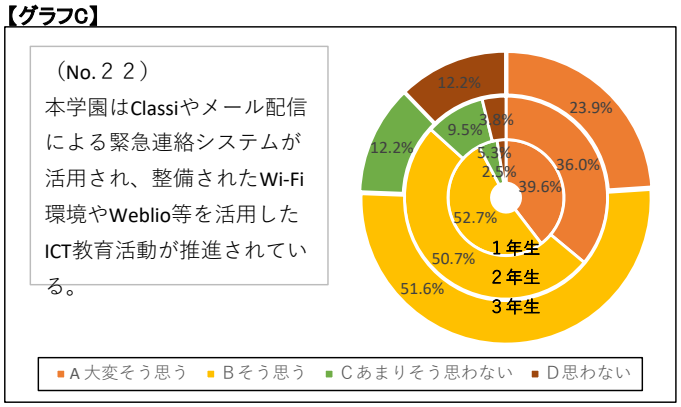
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	24.0%	54.4%	17.3%	4.2%	1.0
		2年生	17.5%	52.4%	19.8%	10.4%	0.5
		3年生	12.7%	41.3%	25.4%	20.7%	−0.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	13.0%	52.5%	26.4%	8.1%	0.4
		2年生	16.5%	47.6%	22.6%	13.2%	0.3
		3年生	13.7%	38.2%	26.4%	21.7%	−0.1
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	25.8%	55.1%	14.5%	4.6%	1.0
		2年生	21.7%	55.2%	17.0%	6.1%	0.8
		3年生	15.6%	52.4%	15.1%	17.0%	0.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	29.3%	48.4%	17.3%	4.9%	1.0
		2年生	25.9%	50.0%	16.0%	8.0%	0.9
		3年生	14.1%	39.4%	19.7%	26.8%	−0.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	41.3%	51.2%	5.3%	2.1%	1.6
		2年生	39.6%	50.9%	6.6%	2.8%	1.5
		3年生	26.6%	46.7%	12.1%	14.5%	0.7
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	36.0%	55.5%	7.4%	1.1%	1.5
		2年生	26.9%	57.5%	10.4%	5.2%	1.1
		3年生	20.6%	51.4%	15.0%	13.1%	0.6
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	32.2%	56.9%	8.8%	2.1%	1.4
		2年生	29.2%	54.7%	10.4%	5.7%	1.2
		3年生	25.4%	54.5%	9.4%	10.8%	0.9



C　その他

【グラフC】



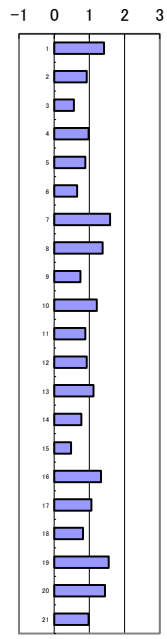
【分析・考察】

○本学園では、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として他の高校に先駆けて検温所を設置する等、積極的なコロナ対応を進めてきた。このことを生徒たちもよく理解しており、高い評価をしていることが分かる。またその中で進めてきたICT教育活動の推進も、生徒たちの教育環境改善に直結している。No.22の項目に関する高い評価も、このような背景によるものと思われる。(C−22)

○今後classiなどの活用をさらに進め、緊急時の迅速な対応と丁寧な情報提供を進めいきたい。

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	38.3%	47.2%	11.7%	2.8%	1.4
		2年生	28.3%	48.1%	15.1%	8.5%	0.9
		3年生	26.6%	39.7%	18.7%	15.0%	0.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	24.7%	53.7%	17.3%	4.2%	1.0
		2年生	22.7%	55.9%	14.2%	7.1%	0.9
		3年生	20.2%	53.1%	16.0%	10.8%	0.7
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	39.6%	52.7%	5.3%	2.5%	1.6
		2年生	36.0%	50.7%	9.5%	3.8%	1.4
		3年生	23.9%	51.6%	12.2%	12.2%	0.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	24.4%	63.3%	11.0%	1.4%	1.2
		2年生	21.8%	55.9%	17.1%	5.2%	0.9
		3年生	25.5%	54.2%	11.3%	9.0%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	23.7%	61.5%	12.0%	2.8%	1.1
		2年生	20.9%	54.5%	17.1%	7.6%	0.8
		3年生	19.3%	49.5%	17.0%	14.2%	0.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	31.1%	57.2%	8.8%	2.8%	1.3
		2年生	25.1%	58.3%	10.9%	5.7%	1.1
		3年生	22.1%	59.2%	6.6%	12.2%	0.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	35.0%	58.0%	6.7%	0.4%	1.6
		2年生	33.5%	58.0%	5.7%	2.8%	1.4
		3年生	25.9%	55.7%	9.9%	8.5%	1.0



調査結果と考察

2 特別進学コース

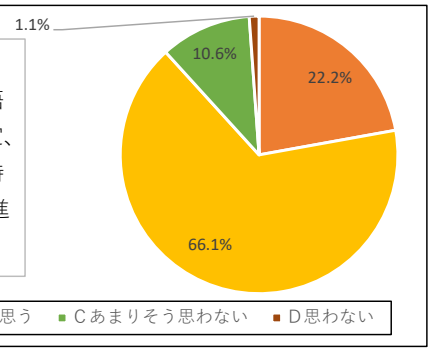
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×３＋B度数×１＋C度数×（－１）＋D度数×（－３）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.８）
各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。

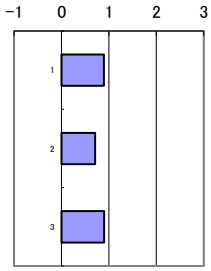


【分析・考察】
○昨年度の学校評価と比較して、評価結果に関して大きな変化は見られない。
○生徒の集計結果と同様にNo.8の資格取得に関する項目が最も高い評価となっているが、これは日頃から生徒たちの評価を直接聞いていることによるものと思われる。このことに関しては、教育懇談会や面談などの場を通じて情報提供を行っていくことなど、学園側からの積極的な関与を行うことで更なる改善を進めていきたい。（A-8）
○しかし一方で、No.7の項目は、昨年同様必ずしも高くはない（昨年度よりも倍増はしているが）。卒業生が自らの体験を在校生に伝える「在卒懇」のような行事は、在校生の関心も高いものと思われるので、内容や進め方をコース全体で検討を加えていきたい。

【表A】

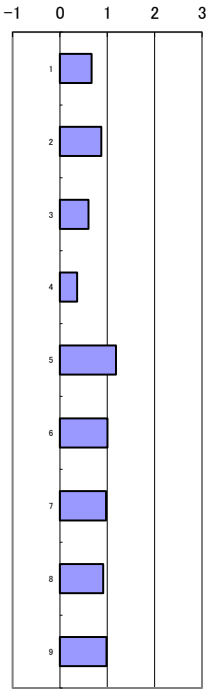
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	13.0%	70.1%	15.6%	1.3%	0.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.8%	67.1%	21.9%	1.1%	0.7
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	14.7%	67.4%	16.0%	1.9%	0.9



Ⅱ 教育課程について

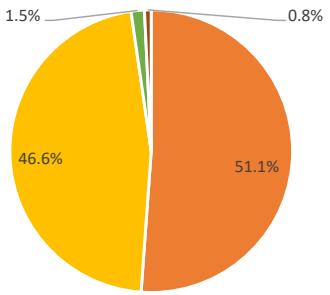
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	12.4%	62.9%	20.6%	4.1%	0.7
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	13.8%	67.2%	17.6%	1.3%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.4%	62.5%	24.2%	3.0%	0.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	10.0%	53.3%	31.4%	5.3%	0.4
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	22.2%	66.1%	10.6%	1.1%	1.2
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	20.1%	62.7%	14.6%	2.7%	1.0
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.7%	68.9%	13.7%	1.7%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	16.9%	65.0%	14.8%	3.2%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	16.0%	69.6%	12.2%	2.3%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

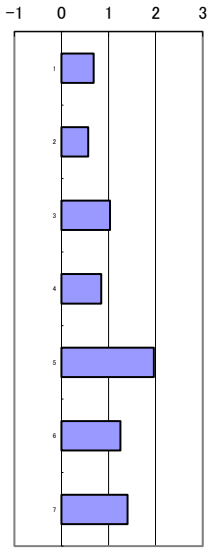
（No.１７）
本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



【分析・考察】
○この項目に関しても、昨年度と比較してほとんどすべての項目で若干の改善はみられるものの、大きな変化は見られない。
○そうした中でNo.17の項目で、「大変そう思う」「そう思う」肯定的な意見の合計が97.7%と非常に高い評価を得ている。
保護者にとっては安全安心な学校が何よりも優先される事項なので、こうした命の大切さを学ぶ特色ある活動が高く評価されたものと思われる。（B-17）

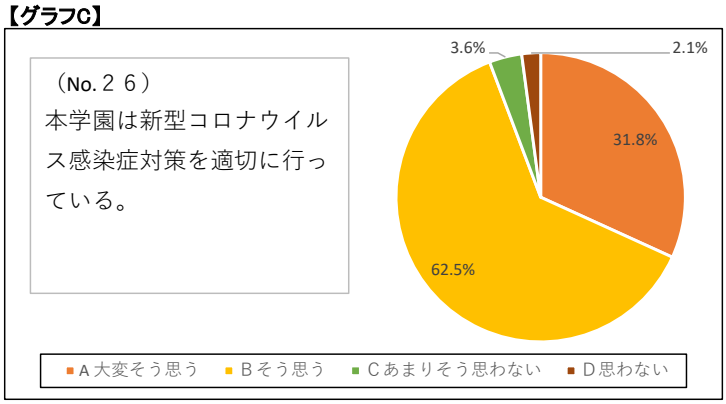
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	10.7%	65.3%	21.5%	2.5%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	6.1%	67.9%	24.3%	1.7%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	15.9%	71.4%	10.9%	1.7%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	17.4%	60.6%	18.9%	3.1%	0.8
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	51.1%	46.6%	1.5%	0.8%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	22.7%	69.0%	6.6%	1.7%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	30.5%	61.3%	6.3%	1.9%	1.4



C　その他

【グラフC】

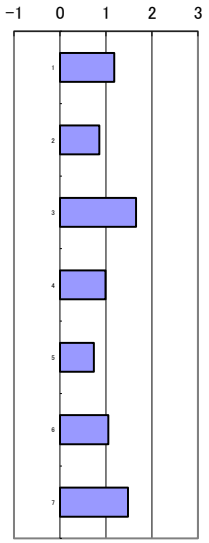


【分析・考察】

○本学園では、新型コロナウイルス対策としていち早い検温所の設置や時宜を得たオンライン授業の実施など、感染拡大防止に向けた迅速な対応を行ってきている。(C-26)
○そのことをClassiや緊急連絡システムを活用して情報提供していることがこのような高評価に繋がっている。
新型コロナウイルスが5類へ移行してはいるものの、これまでの感染症対策の経験を生かした防止策の工夫を継続的に行っていきたい。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	28.5%	54.4%	14.8%	2.3%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	10.0%	74.9%	13.2%	1.9%	0.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	40.3%	53.4%	5.2%	1.2%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	21.6%	58.2%	18.0%	2.1%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	10.8%	68.9%	16.6%	3.7%	0.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	16.2%	72.3%	9.4%	2.1%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	31.8%	62.5%	3.6%	2.1%	1.5



調査結果と考察

2 特別進学コース

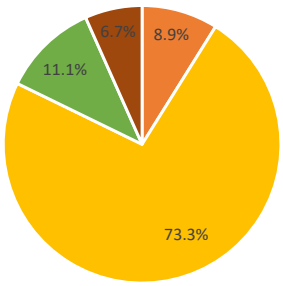
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝(A度数×３＋B度数×１＋C度数×（－１）＋D度数×（－３）÷（総度数）

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No. 9）
学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。



【分析・考察】

○全体としてはすべての項目に関して、評価が比較的高い。しかし個々の数値をみるとほとんどの項目について、評価値が減少していることが分かる。数値が減少する傾向は望ましいものではないが、むしろ自分たちの教育活動を、冷静かつ客観的に見ようとする姿勢が出てきたように思われるので、そのことを手掛かりに新たな取り組みを作り上げていきたい。

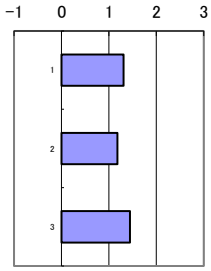
○特にNo.9の「課外活動（放課後講習・夏期講習）への評価が最も低くなっている。

この項目は生徒の評価も低くなっていることから、今後最も力を入れて改善策を練っていく必要がある。（A-9）

【表A】

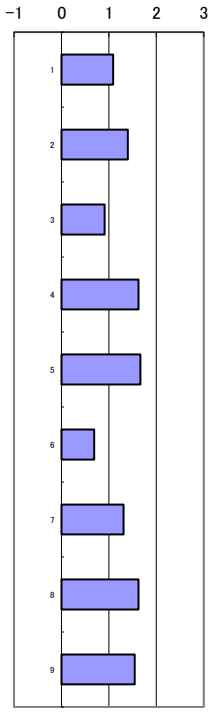
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	20.0%	75.6%	4.4%	0.0%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	20.0%	68.9%	11.1%	0.0%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	26.7%	68.9%	4.4%	0.0%	1.4



Ⅱ 教育課程について

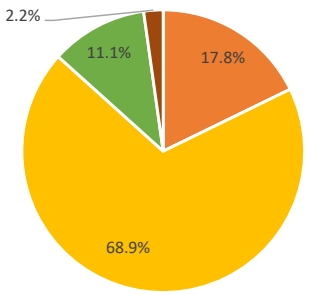
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	13.3%	80.0%	4.4%	2.2%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	26.7%	66.7%	6.7%	0.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	11.1%	73.3%	15.6%	0.0%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	33.3%	64.4%	2.2%	0.0%	1.6
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	35.6%	62.2%	2.2%	0.0%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	8.9%	73.3%	11.1%	6.7%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	22.2%	71.1%	6.7%	0.0%	1.3
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	33.3%	64.4%	2.2%	0.0%	1.6
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	1.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No. 14）
ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）は成果を上げている。



【分析・考察】

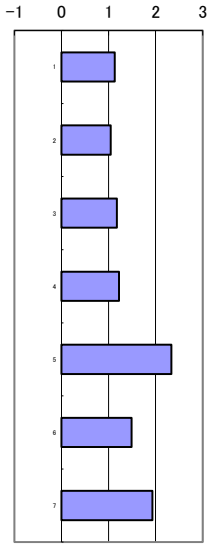
○No.14のゼロディフェクト（学校生活正常化運動）に関する項目の評価が、この分野では最も低いものとなっている。しかしながらこの運動は、本学園の教育活動の根幹にかかわる部分でもあるので、もう一度教員の共通理解を図り、運動のさらなる徹底と生徒の意識涵養を図っていきたい。（B-14）

○No.17の飲酒運転根絶運動に関する項目は、生徒、保護者を含めたすべての項目の中で最も高い評価値となっている。

生徒たちの大切な命を何よりも大切にした教育活動を行おうとする教員の意識の現れでもあるので、今後ともこうした教員の意識の維持に務めていきたい。

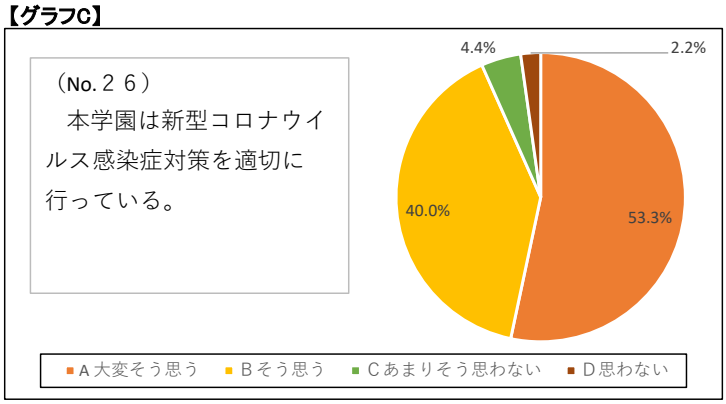
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	20.0%	68.9%	8.9%	2.2%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	17.8%	68.9%	11.1%	2.2%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	24.4%	60.0%	15.6%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	1.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	33.3%	60.0%	4.4%	2.2%	1.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	51.1%	44.4%	4.4%	0.0%	1.9



C　その他

【グラフC】

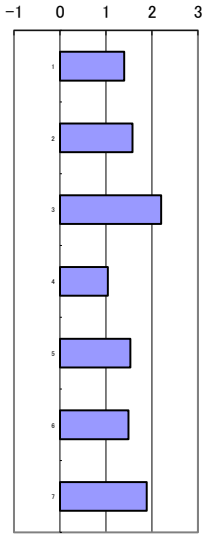


【分析・考察】

○No.26の項目に関して、新型コロナウイルス対策として本学園はいち早く検温所の設置や迅速なオンライン授業の実施など、積極的に進めてきた。しかしながら「あまりそう思わない」「そう思わない」という否定的な意見の合計が6.7%あることからまだまだ改善の余地は残されているものと思われるので、今後とも検討を進めていきたい。(C-26)
○No.22の項目に関しては、肯定的な意見が100%になっている。しかし、ClassiやSlack等を使っての生徒たちへの働きかけはさらに進めていかなければならないので、意欲的な取り組みを共有するなどして更なる改善を進めていきたい。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	28.9%	62.2%	8.9%	0.0%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	33.3%	62.2%	4.4%	0.0%	1.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	8.9%	84.4%	6.7%	0.0%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	28.9%	68.9%	2.2%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	33.3%	60.0%	4.4%	2.2%	1.5
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	53.3%	40.0%	4.4%	2.2%	1.9



調査結果と考察

3 外国語コース

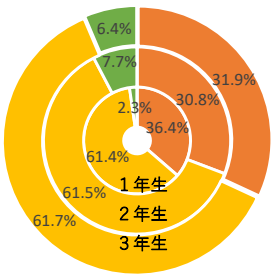
（1）生徒対象

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。

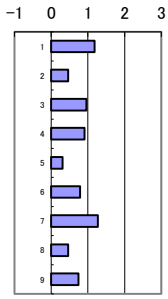


【分析・考察】
○進路達成に語学検定資格取得が役立つと評価された。国内外の大学進学における語学検定資格・スコア等の取得状況の重要性が高まっているので、今後も推進していきたい。(A-8)
○国際交流イベント、海外研修や留学の実施の制限がなくなり、コロナ前に実施していた諸活動がいくつか再開された。学習意欲、能力を高められる学習機会、課外講習の実施を図り、モチベーションや学力・進路実績の向上につなげたい。
○多言語教育、国際理解教育の特色ある教育内容・機会の充実と、生徒一人一人の資質・学力の向上、満足度の一致を図っていきたい。

【表A】

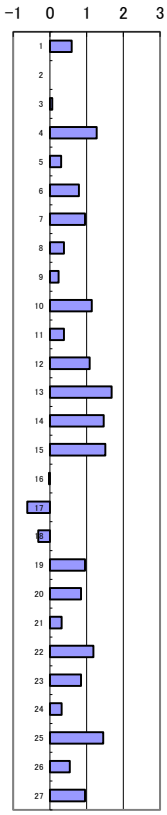
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	25.0%	61.4%	11.4%	2.3%	1.2
		2年生	11.5%	57.7%	23.1%	7.7%	0.5
		3年生	23.4%	53.2%	21.3%	2.1%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	18.2%	61.4%	18.2%	2.3%	0.9
		2年生	11.5%	50.0%	30.8%	7.7%	0.3
		3年生	21.3%	51.1%	23.4%	4.3%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	31.8%	52.3%	13.6%	2.3%	1.3
		2年生	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%	0.5
		3年生	19.1%	57.4%	14.9%	8.5%	0.7



Ⅱ 教育課程について

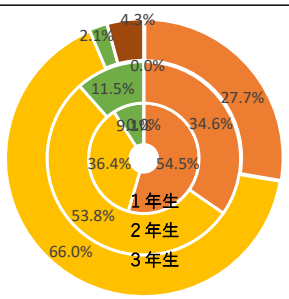
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	22.7%	47.7%	15.9%	13.6%	0.6
		2年生	11.5%	34.6%	46.2%	7.7%	0.0
		3年生	8.5%	55.3%	17.0%	19.1%	0.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	31.8%	50.0%	18.2%	0.0%	1.3
		2年生	11.5%	46.2%	38.5%	3.8%	0.3
		3年生	19.1%	55.3%	21.3%	4.3%	0.8
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	22.7%	54.5%	20.5%	2.3%	1.0
		2年生	15.4%	46.2%	30.8%	7.7%	0.4
		3年生	10.6%	57.4%	14.9%	17.0%	0.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	30.2%	51.2%	14.0%	4.7%	1.1
		2年生	15.4%	50.0%	23.1%	11.5%	0.4
		3年生	23.4%	63.8%	6.4%	6.4%	1.1
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.4%	61.4%	2.3%	0.0%	1.7
		2年生	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%	1.5
		3年生	31.9%	61.7%	6.4%	0.0%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	18.6%	34.9%	23.3%	23.3%	0.0
		2年生	7.7%	34.6%	26.9%	30.8%	-0.6
		3年生	8.5%	44.7%	19.1%	27.7%	-0.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	15.9%	65.9%	18.2%	0.0%	1.0
		2年生	15.4%	65.4%	15.4%	3.8%	0.8
		3年生	14.9%	51.1%	19.1%	14.9%	0.3
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	27.9%	55.8%	14.0%	2.3%	1.2
		2年生	23.1%	50.0%	23.1%	3.8%	0.8
		3年生	10.6%	57.4%	19.1%	12.8%	0.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%	1.5
		2年生	11.5%	57.7%	26.9%	3.8%	0.5
		3年生	12.8%	74.5%	10.6%	2.1%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

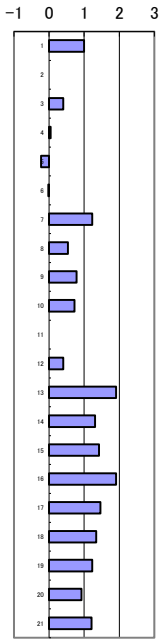
（No.18）
本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。



【分析・考察】
○グローバル人材育成、国際理解教育についての各種取り組みは肯定的評価である。コースならではの教育内容、学習機会の充実をさらに目指したい。(B-18)
○「ゼロディフェクト」の取組みや、日々の学校生活の諸活動が、個々の資質向上や社会性の育成につながることをなお丁寧に指導し、課題解決に向け生徒が主体的に取り組めるような活動を目指したい。
○生徒の進路志望にも資する海外交流や研修、各種イベントの企画にも取り組みたい。

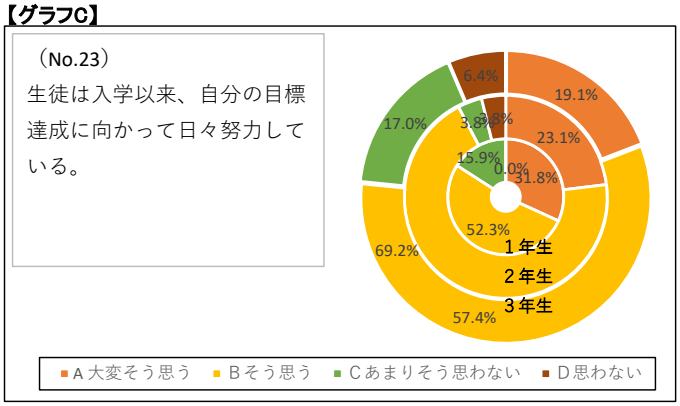
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	23.3%	55.8%	18.6%	2.3%	1.0
		2年生	7.7%	50.0%	26.9%	15.4%	0.0
		3年生	6.4%	68.1%	14.9%	10.6%	0.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	9.1%	45.5%	34.1%	11.4%	0.0
		2年生	7.7%	46.2%	23.1%	23.1%	−0.2
		3年生	4.3%	59.6%	17.0%	19.1%	0.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	27.3%	59.1%	11.4%	2.3%	1.2
		2年生	15.4%	53.8%	23.1%	7.7%	0.5
		3年生	17.0%	61.7%	14.9%	6.4%	0.8
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	27.3%	45.5%	13.6%	13.6%	0.7
		2年生	15.4%	34.6%	34.6%	15.4%	0.0
		3年生	8.5%	63.8%	17.0%	10.6%	0.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	52.3%	43.2%	2.3%	2.3%	1.9
		2年生	30.8%	57.7%	7.7%	3.8%	1.3
		3年生	25.5%	70.2%	4.3%	0.0%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	1.9
		2年生	34.6%	53.8%	11.5%	0.0%	1.5
		3年生	27.7%	66.0%	2.1%	4.3%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	29.5%	54.5%	13.6%	2.3%	1.2
		2年生	19.2%	57.7%	23.1%	0.0%	0.9
		3年生	27.7%	57.4%	12.8%	2.1%	1.2



C　その他

【グラフC】

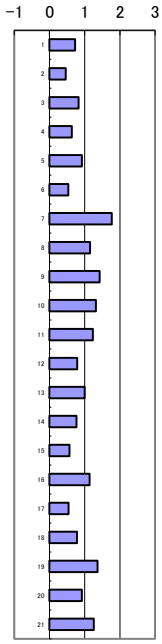


【分析・考察】

○目標達成に向け日々努力していると生徒自身の評価が高い。同項目の保護者・教員の評価も同様に高かった。各生徒が進路達成に向けて、日々の学校生活に意識的に取り組んでいる結果といえる。
○学校の施設整備、ハード・ソフト両面について肯定的な評価である。緊急連絡システム、Classi、Slackや整備されたICT環境の活用も高評価である。
○整備されたICT環境も適切に活用し、生徒・教員の良好なコミュニケーション関係構築を図りたい。

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	25.0%	47.7%	15.9%	11.4%	0.7
		2年生	23.1%	34.6%	34.6%	7.7%	0.5
		3年生	21.3%	61.7%	4.3%	12.8%	0.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	18.2%	54.5%	18.2%	9.1%	0.6
		2年生	19.2%	61.5%	15.4%	3.8%	0.9
		3年生	12.8%	59.6%	19.1%	8.5%	0.5
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	43.2%	52.3%	4.5%	0.0%	1.8
		2年生	19.2%	69.2%	11.5%	0.0%	1.2
		3年生	29.8%	63.8%	4.3%	2.1%	1.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	31.8%	52.3%	15.9%	0.0%	1.3
		2年生	23.1%	69.2%	3.8%	3.8%	1.2
		3年生	19.1%	57.4%	17.0%	6.4%	0.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	22.7%	56.8%	18.2%	2.3%	1.0
		2年生	11.5%	69.2%	15.4%	3.8%	0.8
		3年生	13.0%	58.7%	21.7%	6.5%	0.6
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	31.8%	50.0%	11.4%	6.8%	1.1
		2年生	19.2%	50.0%	19.2%	11.5%	0.5
		3年生	17.4%	65.2%	6.5%	10.9%	0.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	31.8%	56.8%	9.1%	2.3%	1.4
		2年生	11.5%	73.1%	15.4%	0.0%	0.9
		3年生	26.1%	63.0%	8.7%	2.2%	1.3



調査結果と考察

3 外国語コース

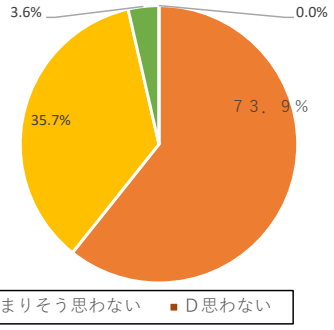
A：大変そう思う B：そう思う C：あまり思わない D：思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

（3）教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。

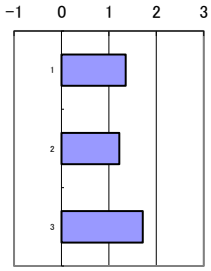


【分析・考察】
○グラフ（A-8） から、コースの特色である語学検定取得の取組みが、コースの目標、進路達成に直結していることが、教員間で共通認識として共有されている。
○特に長期休業中の課外講習については、外国語コースレギュラークラス・留学生に対応した効果的な内容を検討、生徒が効果と達成感を得られるようなプログラムを実施していきたい。（A-9）
○コースの特色である外国語言語教育と国際理解教育の充実化をさらに図りたい。各学年・各生徒の全体・個別の実態把握に努め、コースの各生徒の資質向上と進路達成に努めたい。

【表A】

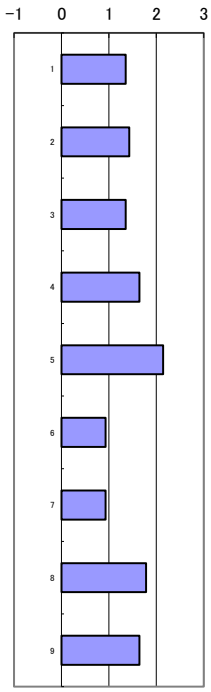
Ⅰ 授業について

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	21.4%	75.0%	3.6%	0.0%	1.4
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	14.8%	81.5%	3.7%	0.0%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%	1.7



Ⅱ 教育課程について

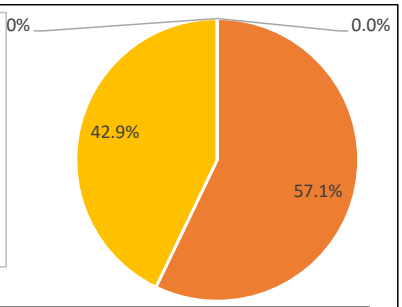
No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	21.4%	75.0%	3.6%	0.0%	1.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	21.4%	75.0%	3.6%	0.0%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	35.7%	60.7%	3.6%	0.0%	1.6
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	60.7%	35.7%	3.6%	0.0%	2.1
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	14.3%	67.9%	17.9%	0.0%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	10.7%	75.0%	14.3%	0.0%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	39.3%	60.7%	0.0%	0.0%	1.8
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	32.1%	67.9%	0.0%	0.0%	1.6



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

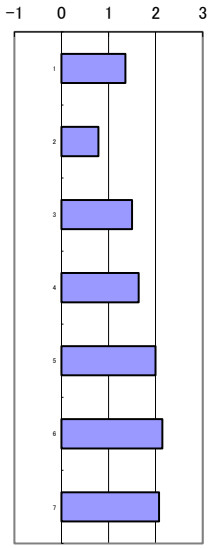
（No.18）
本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。



【分析・考察】
○グラフ（B-18）は、コースの特色であるIBDP、海外研修、交換留学等はグローバル人材の育成・国師理解教育に効果的だと評価された。コロナ前のように、海外研修、短期・長期留学、姉妹校からの訪問などの事業再開されたが、今後も生徒の教育的効果を高める実施内容を計画していきたい。
○項目14「ゼロディフェクト」の取り組みや日々の学校生活・行事を通して、建学の精神・社会課題へ主体的に取り組む姿勢も育成できるよう、目的・意義の共有が必要である。（B-14）
○学校生活・行事の様々な機会を通じた個々の資質と社会性の向上、社会に貢献できる人材の育成という目的を共有し、生徒の指導につなげたい。

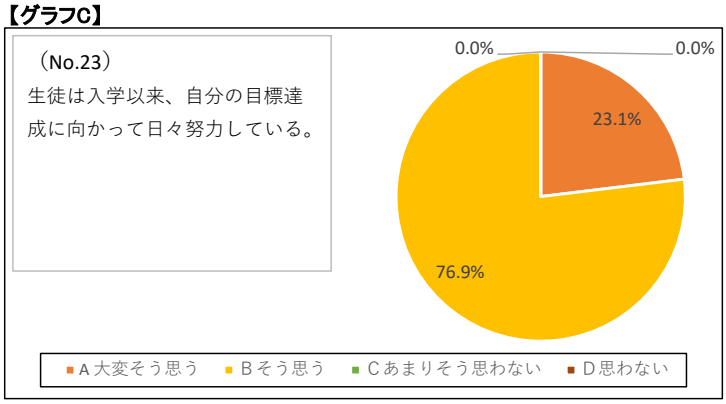
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	25.0%	67.9%	7.1%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	14.3%	60.7%	25.0%	0.0%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	32.1%	60.7%	7.1%	0.0%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	39.3%	53.6%	7.1%	0.0%	1.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	2.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	53.6%	46.4%	0.0%	0.0%	2.1



C　その他

【グラフC】

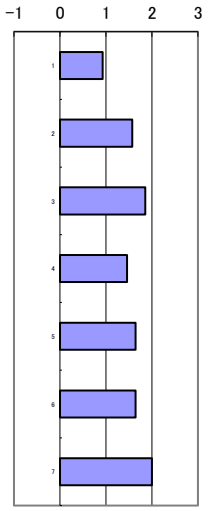


【分析・考察】

○グラフ(C-23)から、生徒は学校生活において、進路達成に向けて努力していると、生徒・保護者同様に、教員も評価している。生徒の学校生活の充実、成長につながる環境整備に努めたい。(C-23)
○(項目24)生徒の実態把握・情報共有については、今後、適切なICT活用を検討し、指導の実践に繋げたい。
○(項目26)これまでの経験から、感染症対策意識は高いため、今後も様々な場面で適切な対応を継続していきたい。
○学校全体のハード・ソフト両面の利点を、生徒の資質・能力の育成に活用していきたい。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	17.9%	64.3%	14.3%	3.6%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	1.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	32.1%	67.9%	0.0%	0.0%	1.6
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	35.7%	60.7%	3.6%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0



調査結果と考察

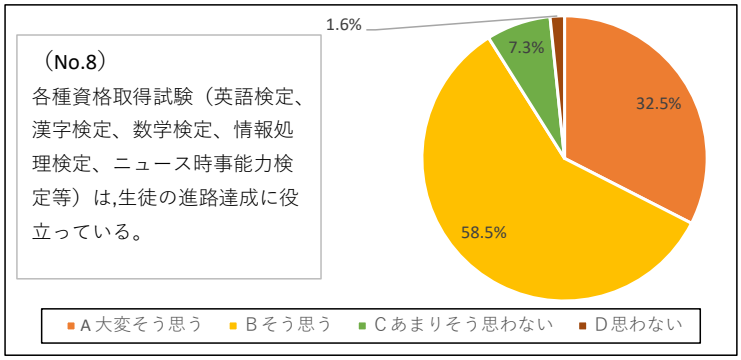
3 外国語コース

A：大変そう思う B：そう思う C：あまり思わない D：思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



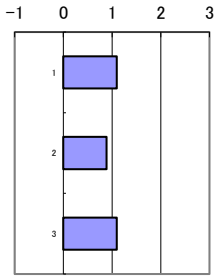
【分析・考察】

○外国語検定資格取得の取り組みと成果は、進路達成に役立つとよく評価されている。生徒・保護者・教員間での相談・対応なども、なお適切に実施していきたい。（A-8）
○海外研修、留学などの実施状況は、コロナ前に戻りつつある。今後も外国語言語教育と国際理解教育、各種スピーチコンテストや交流イベント等、コースならではの特色ある教育活動の充実、適切な情報提供を通じて、グローバルなキャリア意識と意欲を高められるようなコースの特色を活かしたプランの検討・実施をはかりたい。

【表A】

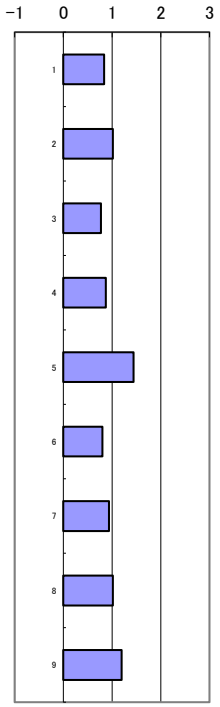
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	24.4%	60.2%	11.4%	4.1%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	17.1%	62.6%	17.9%	2.4%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	22.0%	63.4%	12.2%	2.4%	1.1



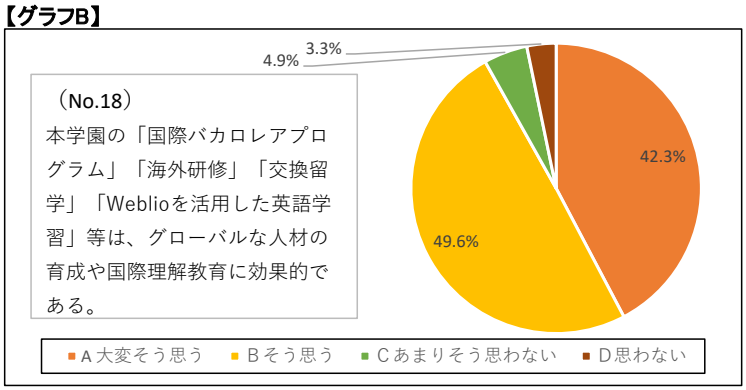
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.1%	63.4%	13.8%	5.7%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	19.5%	66.7%	8.9%	4.9%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	13.8%	65.9%	15.4%	4.9%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	21.1%	57.7%	14.6%	6.5%	0.9
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	32.5%	58.5%	7.3%	1.6%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	17.2%	61.5%	15.6%	5.7%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.8%	72.4%	10.6%	3.3%	0.9
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	25.2%	56.9%	11.4%	6.5%	1.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	22.8%	65.9%	9.8%	1.6%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



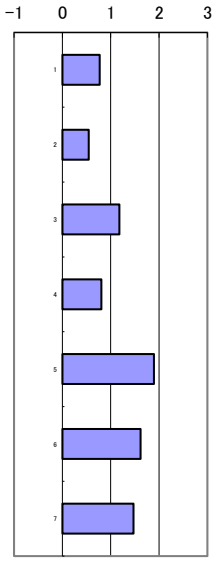
【分析・考察】

○コースの特色であるIBDP、海外研修、交換留学等がグローバル人材の育成・国師理解教育に効果的であると評価された。「飲酒運転根絶運動」「シジュウカラガン復活プロジェクト」など社会的意義のある活動・取組みもよく評価された。（B-18）
○「ゼロディフェクト」の取り組みや、日々の学校生活・行事を通して、建学の精神、社会課題へ主体的に取り組む姿勢も育成できるよう、生徒・保護者・教員の3者間で目的・意義の共有を図ることができるようにしたい。
○学校生活・行事の様々な機会を通じて、個々の資質と社会性の向上、社会に貢献できる人材の育成という目的の共有し、生徒・保護者・教員間のコミュニケーションも、ICT環境も適切に活用して、より活発にしたい。

【表B】

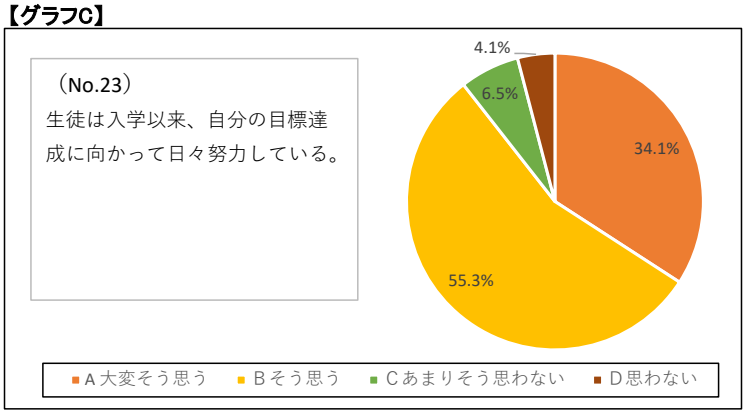
と

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	12.2%	67.5%	17.1%	3.3%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	8.1%	64.2%	24.4%	3.3%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	23.8%	64.8%	8.2%	3.3%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	18.7%	57.7%	18.7%	4.9%	0.8
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	50.4%	45.5%	2.4%	1.6%	1.9
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	42.3%	49.6%	4.9%	3.3%	1.6
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	35.0%	56.1%	6.5%	2.4%	1.5



C　その他

【グラフC】

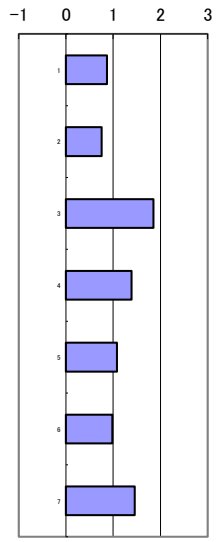


【分析・考察】

○保護者からも、生徒は学校生活において進路達成に向け日々努力していると、評価されている。学校の施設設備、特に緊急連絡システム等のICT活用が評価された。またコロナ対策にも保護者の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、適切に対応していると評価された。(C-23)
○各生徒の希望進路達成に向け、今後も生徒の実態把握と、生徒・保護者・教員3者間の良好なコミュニケーションと信頼関係の構築に努めていきたい。
○学校全体のハード・ソフト両面の利点に加え、様々な国籍の生徒・保護者、教員・スタッフが所属する外国語コース・国際部の教育環境を活かし、多様化するグローバル社会に求められる資質・能力の育成をさらに図っていきたい。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	24.4%	49.6%	21.1%	4.9%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	9.8%	72.1%	13.9%	4.1%	0.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	45.9%	51.6%	1.6%	0.8%	1.9
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	34.1%	55.3%	6.5%	4.1%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	20.5%	66.4%	9.8%	3.3%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	20.3%	61.8%	14.6%	3.3%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	32.5%	60.2%	4.9%	2.4%	1.5



調査結果と考察

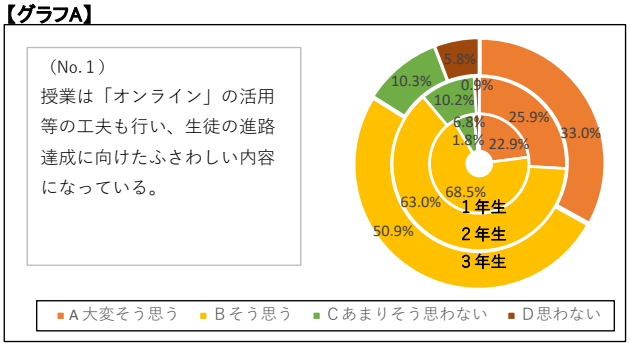
4 英進進学コース

（1）生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

【グラフA】



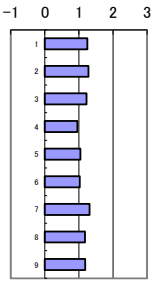
【分析・考察】

○いずれの項目も「肯定的評価」である。特に項目1「授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。」88.0%(保87.1%/教97.6%)である。数値的には8割を超え「肯定的評価」となり、生徒の評価が昨年より4ポイントもアップしている。前年度の「zoom」の扱い方等の反省を踏まえて生徒・教員共に前向きに改善努力した結果である。(A-1および2)
○Ⅱの項目8「各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。」が各学年共に高評価である。3年次の出願に向けて1～2年生で意識が高いことを評価したい。
○いずれの項目においても、前年度と比較して＋評価のポイントが増加傾向にあることはうれしい限りである。なお一層工夫を凝らして取り組んで行きたい。

【表A】

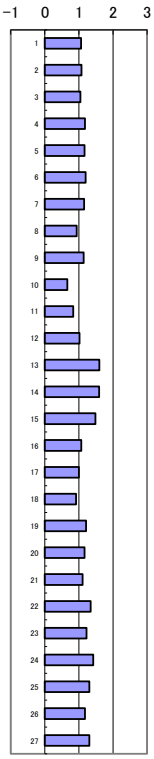
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	22.9%	68.5%	6.8%	1.8%	1.3
		2年生	25.9%	63.0%	10.2%	0.9%	1.3
		3年生	33.0%	50.9%	10.3%	5.8%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	17.6%	66.0%	13.3%	3.2%	1.0
		2年生	20.4%	62.5%	16.2%	0.9%	1.0
		3年生	27.7%	53.6%	11.2%	7.6%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	25.1%	66.3%	7.9%	0.7%	1.3
		2年生	23.6%	62.0%	13.9%	0.5%	1.2
		3年生	32.1%	52.2%	8.5%	7.1%	1.2



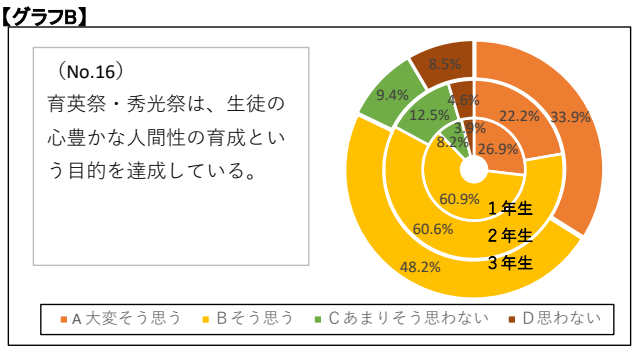
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	21.9%	62.4%	12.9%	2.9%	1.1
		2年生	19.4%	66.7%	12.0%	1.9%	1.1
		3年生	29.5%	50.9%	12.1%	7.6%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	19.0%	72.4%	7.2%	1.4%	1.2
		2年生	19.4%	69.9%	10.2%	0.5%	1.2
		3年生	29.5%	58.0%	5.4%	7.1%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	21.2%	67.0%	10.0%	1.8%	1.2
		2年生	19.0%	62.5%	14.8%	3.7%	0.9
		3年生	28.6%	56.3%	8.9%	6.3%	1.1
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	13.6%	59.5%	23.3%	3.6%	0.7
		2年生	18.1%	60.6%	16.2%	5.1%	0.8
		3年生	27.7%	54.9%	8.0%	9.4%	1.0
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.6%	57.7%	5.0%	0.7%	1.6
		2年生	35.6%	59.3%	4.2%	0.9%	1.6
		3年生	37.1%	54.5%	4.0%	4.5%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	20.4%	65.2%	11.8%	2.5%	1.1
		2年生	20.4%	60.6%	17.6%	1.4%	1.0
		3年生	24.6%	55.4%	11.6%	8.5%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	25.5%	57.4%	4.3%	2.9%	1.2
		2年生	22.3%	65.1%	11.2%	1.4%	1.2
		3年生	28.1%	56.3%	8.5%	7.1%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	26.2%	66.0%	6.8%	1.1%	1.3
		2年生	21.8%	69.9%	6.0%	2.3%	1.2
		3年生	38.8%	48.7%	7.1%	5.4%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	21.9%	72.8%	4.3%	1.1%	1.3
		2年生	20.0%	70.7%	7.4%	1.9%	1.2
		3年生	30.8%	58.5%	5.8%	4.9%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

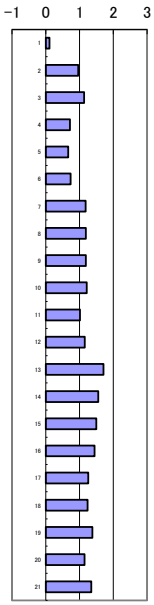


【分析・考察】

○特にコロナが5類になることで、従来の学園生活が戻り文化祭の項目が高評価となっている。項目16「育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。」が84.2%(保83.6%/教87.8%)と8割を超え、学園生活が充実していることが読み取れる。生徒で＋6.5%、保護者は＋10.3%となっている。(B-16)
○高評価の項目はNo.17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である」93.8%(保97.9%/教100%)、本学園が長いこと持続的に取り組むことで、生徒にもこの精神は根付いていることが分かる。(B-17)
○項目13の「学園の理念」に関する項目では、1学年が数値的には低い傾向がみられ、学園生活の充実のためにも分かりやすく説明してしっかりと身につけさせることが肝要である。次年度は年度当初から「教育理念のわかりやすい説明」に取り掛かりたい。

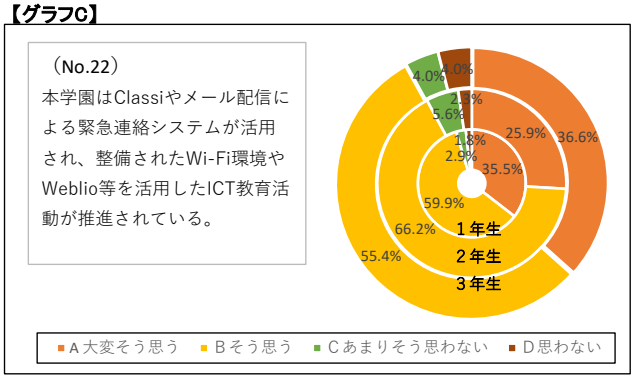
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	21.2%	15.8%	57.7%	3.6%	0.1
		2年生	18.5%	64.8%	13.0%	3.7%	1.0
		3年生	30.8%	51.8%	10.7%	6.7%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	15.8%	57.7%	22.9%	3.6%	0.7
		2年生	13.9%	61.6%	18.5%	6.0%	0.7
		3年生	25.4%	46.9%	16.5%	11.2%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	20.8%	69.2%	8.2%	1.8%	1.2
		2年生	21.3%	69.0%	7.4%	2.3%	1.2
		3年生	30.4%	55.4%	7.6%	6.7%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	26.9%	60.9%	8.2%	3.9%	1.2
		2年生	22.2%	60.6%	12.5%	4.6%	1.0
		3年生	33.9%	48.2%	9.4%	8.5%	1.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	39.1%	57.7%	2.9%	0.4%	1.7
		2年生	33.8%	61.1%	4.2%	0.9%	1.6
		3年生	39.9%	49.8%	5.4%	4.9%	1.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	30.5%	63.1%	4.7%	1.8%	1.4
		2年生	24.7%	66.0%	7.0%	2.3%	1.3
		3年生	29.9%	58.0%	6.3%	5.8%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	27.2%	65.2%	6.8%	0.7%	1.4
		2年生	22.2%	66.7%	7.4%	3.7%	1.1
		3年生	34.5%	53.8%	6.3%	5.4%	1.3



C　その他

【グラフC】

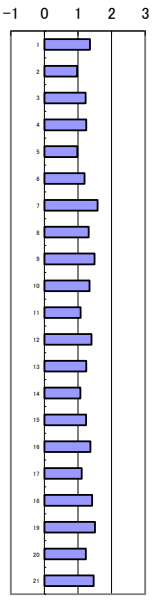


【分析・考察】

○注目したいのは№22「本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。」が93.2%(保94.5%/教100%)であり、生徒の「肯定的評価」が＋8ポイント上昇した点は素直に評価したい。(C-22)
○A-3「平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている」87.1%(保88%/教97.6%)本学園の教育活動が生徒に実感として伝わっているものと思われる。(A-3)
○№20「本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。」は、改善が図られ生徒評価+4.5ポイントとなっている。(C-20)

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	32.3%	56.6%	7.9%	3.2%	1.4
		2年生	22.2%	59.3%	13.4%	5.1%	1.0
		3年生	31.3%	54.9%	7.6%	6.3%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	23.7%	65.6%	10.0%	0.7%	1.2
		2年生	17.6%	69.0%	8.3%	5.1%	1.0
		3年生	30.4%	55.8%	7.1%	6.7%	1.2
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	35.5%	59.9%	2.9%	1.8%	1.6
		2年生	25.9%	66.2%	5.6%	2.3%	1.3
		3年生	36.6%	55.4%	4.0%	4.0%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	26.5%	64.9%	7.9%	0.7%	1.3
		2年生	20.9%	65.6%	9.8%	3.7%	1.1
		3年生	36.2%	52.7%	6.3%	4.9%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	22.6%	68.1%	8.2%	1.1%	1.2
		2年生	17.6%	70.8%	9.3%	2.3%	1.1
		3年生	32.1%	54.0%	7.6%	6.3%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	30.5%	59.9%	7.2%	2.5%	1.4
		2年生	22.2%	66.7%	5.6%	5.6%	1.1
		3年生	33.0%	58.9%	4.0%	4.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	30.1%	65.9%	2.9%	1.1%	1.5
		2年生	23.1%	66.7%	8.8%	1.4%	1.2
		3年生	37.1%	54.0%	4.0%	4.9%	1.5



調査結果と考察

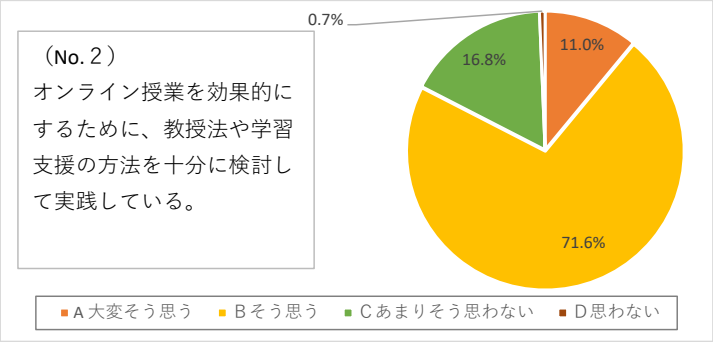
4 英進進学コース

A：大変そう思う B：そう思う C：あまり思わない D：思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



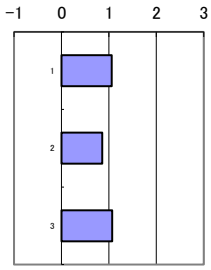
【分析・考察】

○いずれも昨年比で＋ポイントが多くみられ「肯定的評価」となっている。課題となるのは項目7「各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。」と№11「先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。」であり、数値的にも昨年比で0.4%、-1.4%となっている。
　しかし、生徒のアンケート結果ではいずれも高評価であるため、保護者とのコミュニケーションにズレが認められる。保護者面談等を活用して説明する等の周知が求められる。（A-2）
○いずれも8割越えの「肯定的評価」されてはいるものの、保護者の視点ではまだまだ改善すべき点があるものと思われる。ここは冷静に受け止めたい。（A-2　8-11）

【表A】

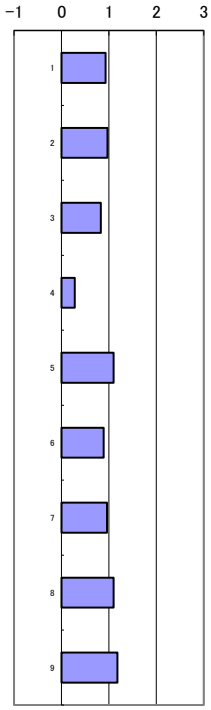
Ⅰ　授業について

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	16.6%	70.5%	12.1%	0.8%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	11.0%	71.6%	16.8%	0.7%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	16.8%	71.2%	10.7%	1.3%	1.1



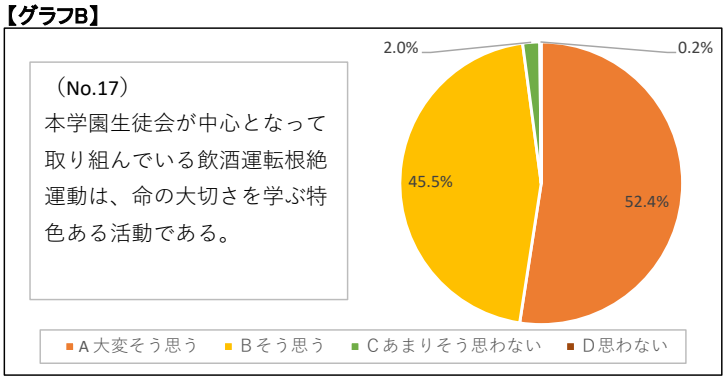
Ⅱ　教育課程について

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	13.9%	70.3%	14.4%	1.5%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	13.3%	72.6%	13.5%	0.7%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.5%	71.6%	16.5%	1.3%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	7.0%	54.2%	34.7%	4.1%	0.3
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	17.6%	70.3%	11.7%	0.5%	1.1
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	15.2%	65.0%	18.8%	1.0%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.6%	71.4%	14.1%	0.8%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	21.6%	62.9%	14.6%	1.0%	1.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	20.3%	69.2%	9.7%	0.8%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

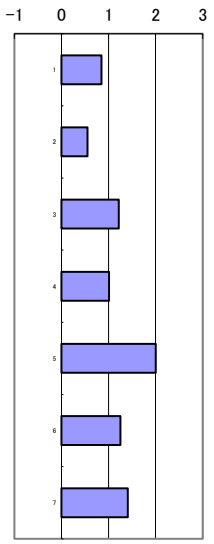


【分析・考察】

○項目17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」97.9%で昨年比1.4ポイントの増加となっており本学園の「命の教育」は高評価である。（B-17）
○項目14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている」が昨年比+3.1ポイントの74.1%(生73.5%/教70.8%)と数値的には低いが、学園内の学校生活においてはむしろ落ち着いた環境にある。（B-14）
○項目23「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している」は79.8%(+0.9ポイントの生88.9%/教73.2%)と生徒・教職員間との数値の開きが認められるが、わが子を厳しく見つめる批判的期待としての親心と解釈し、学園生活での活躍と充実を保護者にもっと実感として伝えられるような取組みが求められよう。（B-23）

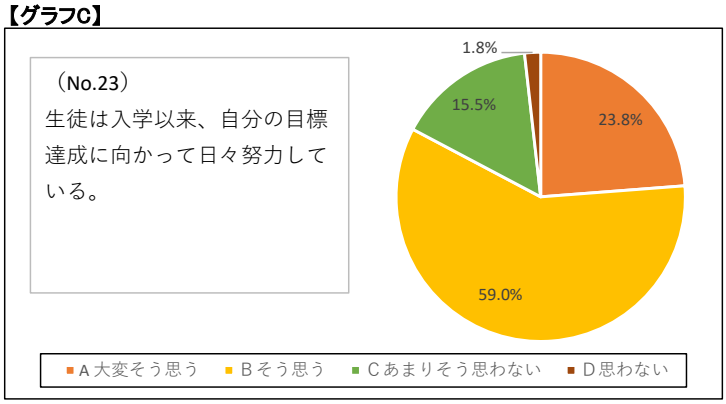
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	12.0%	69.0%	18.5%	0.5%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	5.4%	68.7%	24.4%	1.6%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	18.9%	73.8%	6.7%	0.7%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	18.0%	65.6%	15.4%	1.0%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	52.4%	45.5%	2.0%	0.2%	2.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	23.5%	66.4%	9.3%	0.8%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	27.6%	66.2%	5.2%	1.0%	1.4



C　その他

【グラフC】

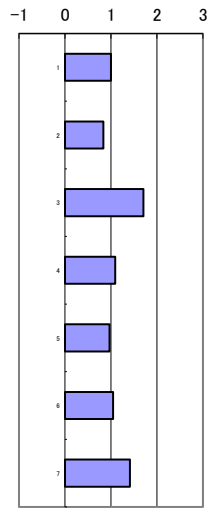


【分析・考察】

○№23「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している」は昨年比+3ポイントの82.8%(生88.9%/教73.2%)と生徒・教職員間との数値の開きが認められるが、学園生活での活躍と充実を保護者に実感として伝えられていると評価できよう。(C-23)
○おおむね「肯定的評価」を得ているものの、以上の分析を通した具体的な取組みについては以下の三点となろう。
①項目20が-0.9ポイント、項目21では-1.5ポイントの低下がみとめられ改善が急務である。
②コロナ禍を克服し、従来通り学校行事が復活し実施していることは評価したい。
③引き続き学園内外での生徒の活躍を周知する広報活動の充実を図りたい。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	22.2%	58.3%	16.7%	2.8%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	12.7%	69.3%	15.1%	2.9%	0.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	39.7%	57.1%	2.3%	1.0%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	23.8%	59.0%	15.5%	1.8%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	15.6%	68.9%	13.8%	1.6%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	16.5%	71.8%	9.5%	2.3%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	27.5%	66.0%	6.2%	0.3%	1.4



調査結果と考察

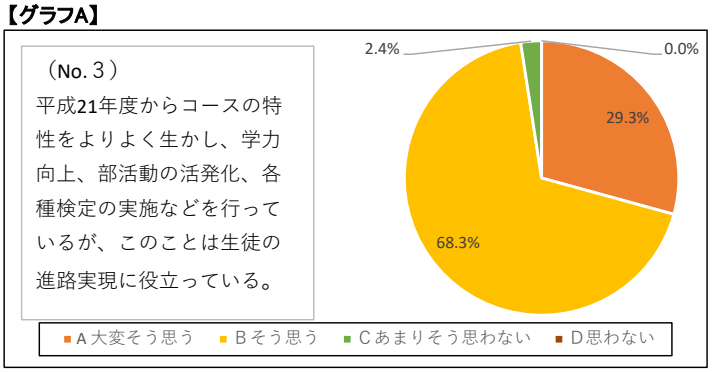
4 英進進学コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A:大変そう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない
評価平均値＝(A度数×3＋B度数×1＋C度数×(－1)＋D度数×(－3)÷(総度数)

【グラフA】



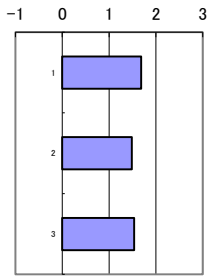
【分析・考察】

○いずれの項目も「肯定的評価」であり強いて触れるとすれば、項目3「平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。」が＋4.8ポイント増の97.6%(保88.0%/生87.1%)であろう。数値的には八割を超え「肯定的評価」である。長期間かけての学校改革がようやく効果を発揮している証左と言える。(A-3)
○No.1.No.2「オンライン」に関する項目では、昨年比+2.4%の増加となっている。教職員側も意欲的・積極的に改善に取り組んだものとして評価したい。
○また、No.11.No.12も評価値が高数値となっている。

【表A】

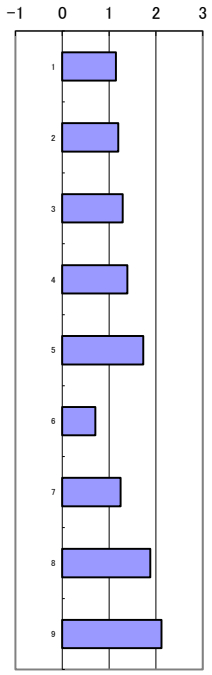
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	36.6%	61.0%	2.4%	0.0%	1.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	29.3%	65.9%	4.9%	0.0%	1.5
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	29.3%	68.3%	2.4%	0.0%	1.5



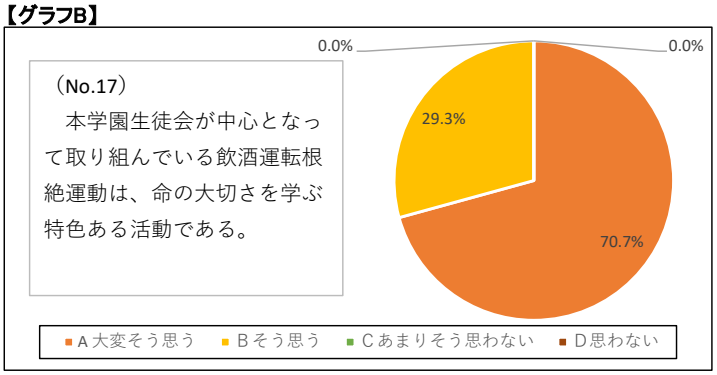
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	19.5%	68.3%	12.2%	0.0%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	24.4%	61.0%	14.6%	0.0%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	31.7%	51.2%	17.1%	0.0%	1.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	36.6%	51.2%	7.3%	4.9%	1.4
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は,生徒の進路達成に役立っている。	41.5%	53.7%	4.9%	0.0%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	7.3%	73.2%	17.1%	2.4%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	26.8%	61.0%	9.8%	2.4%	1.2
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	46.3%	51.2%	2.4%	0.0%	1.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	58.5%	39.0%	2.4%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

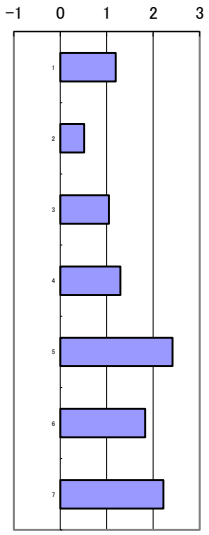


【分析・考察】

○No.17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である」は職員間でも定着しており、引き続き肝に銘じたい。(B-17)
○No.14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている」が昨年比-0.6ポイントの減少。70.8%(+3.1の保74.1%/生73.5%)であり、学園内の学校生活においてはむしろ落ち着いた環境にあるので、数値だけではなく冷静に受け止めたいと考える。SNSでのトラブルが多くなり引き続き生徒たちへの具体的な啓発活動が求められる。(B-14)

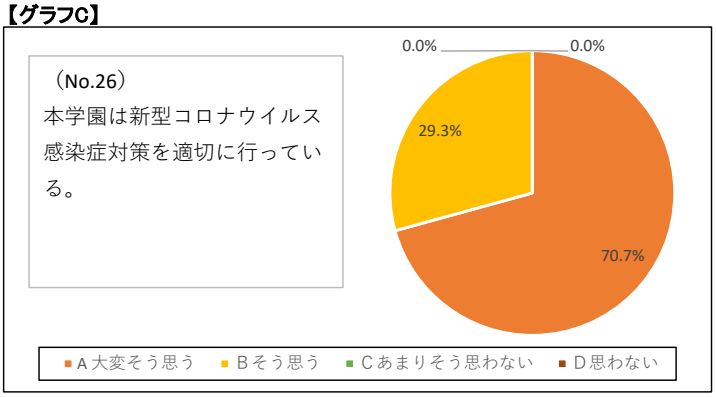
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念（「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」）が教育の中で大切にされている。	26.8%	56.1%	17.1%	0.0%	1.2
14	ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）は成果を上げている。	9.8%	61.0%	24.4%	4.9%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	17.1%	68.3%	14.6%	0.0%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	26.8%	61.0%	12.2%	0.0%	1.3
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%	2.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	43.9%	53.7%	2.4%	0.0%	1.8
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	63.4%	34.2%	2.4%	0.0%	2.2



C　その他

【グラフC】



【分析・考察】

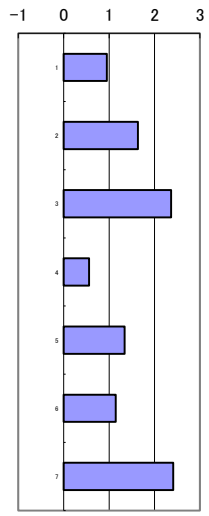
○「本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている」が昨年同様に100%(+0.6で保93.5%/+3.7の生92.3%)、Bの19「本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し新しい生活様式を進んで取り入れている」も97.6%(+2.2の保93.8%/生89.9%)と高い評価を得ている。(C-26)

○教職員対応今後の課題　おおむね「肯定的評価」を得ているものの、以上の分析を通した具体的な取り組みについては以下の三点となろう。

①引き続きオンライン授業の研修会等を行い教授法等の習熟に努め「できるようになる」こと。②継続してSNSでのトラブル回避の手立てを啓蒙活動を強く推進し生徒に積極的に取り組むこと。③生徒の「自己肯定感」をさらに充実させるためコロナ禍を克服して活動の正常化を図ること。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備（校舎・校庭・食堂・売店等）に生徒は満足している。	19.5%	58.5%	22.0%	0.0%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	34.2%	63.4%	2.4%	0.0%	1.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	68.3%	31.7%	0.0%	0.0%	2.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	9.8%	63.4%	22.0%	4.9%	0.6
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	24.4%	68.3%	7.3%	0.0%	1.3
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	14.6%	78.1%	7.3%	0.0%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%	2.4



調査結果と考察

5 情報科学コース

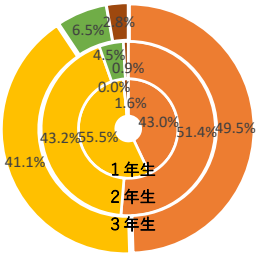
（1）生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。

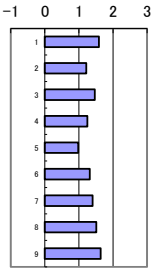


【分析・考察】
○生徒の本コースへの取組みに対する評価は、各種資格検定試験への取組みを中心に高い結果である。特にA評価は2年生8ポイント（43.5→51.4）、3年生12ポイント（37.4→49.5）と昨年よりもさらに高い数字を示しており、検定合格やICT活用などの本コースの特徴を反映していると考えられる。（A-8）
○さらに授業に関する3項目でも、全て昨年を上回る評価値であり、1の授業内容については3年生が89.7%の肯定的評価を示している。この評価を励みにして、さらに生徒の目標達成に向けて、授業改善を進めていきたい。（A-1）
○進路相談や保護者面談についても概ね高評価で、特にA12については3年生の評価値が昨年より0.5ポイント上がっており、丁寧な進路指導が理解を得られていると考える。（A-11・12）
○A7進路関係のガイダンスについては他に比べると高くないが、昨年より評価値が上がっており、さらに具体化し改善を目指したい。（A-7）

【表A】

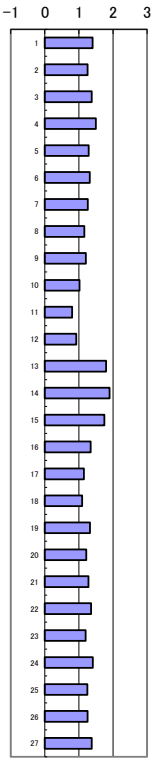
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	37.2%	57.4%	3.1%	2.3%	1.6
		2年生	27.0%	58.6%	12.6%	1.8%	1.2
		3年生	34.6%	55.1%	9.3%	0.9%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	24.0%	65.1%	10.1%	0.8%	1.2
		2年生	21.6%	57.7%	18.9%	1.8%	1.0
		3年生	30.8%	55.1%	13.1%	0.9%	1.3
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	30.2%	61.2%	7.0%	1.6%	1.4
		2年生	33.6%	58.2%	8.2%	0.0%	1.5
		3年生	42.1%	48.6%	8.4%	0.9%	1.6



Ⅱ 教育課程について

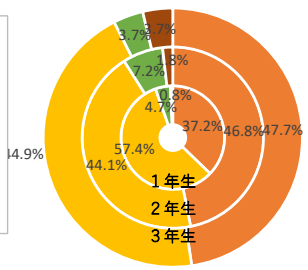
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	31.0%	59.7%	7.8%	1.6%	1.4
		2年生	28.8%	56.8%	12.6%	1.8%	1.3
		3年生	34.6%	53.3%	8.4%	3.7%	1.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	31.8%	62.0%	5.4%	0.8%	1.5
		2年生	25.2%	64.0%	10.8%	0.0%	1.3
		3年生	32.7%	52.3%	13.1%	1.9%	1.3
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	26.4%	63.6%	7.0%	3.1%	**1.3**
		2年生	20.7%	67.6%	10.8%	0.9%	**1.2**
		3年生	29.9%	53.3%	14.0%	2.8%	**1.2**
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	21.1%	60.9%	15.6%	2.3%	**1.0**
		2年生	18.9%	55.9%	21.6%	3.6%	**0.8**
		3年生	31.8%	43.0%	15.0%	10.3%	**0.9**
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	43.0%	55.5%	0.0%	1.6%	1.8
		2年生	51.4%	43.2%	4.5%	0.9%	1.9
		3年生	49.5%	41.1%	6.5%	2.8%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	28.1%	63.3%	6.3%	2.3%	1.3
		2年生	26.1%	57.7%	13.5%	2.7%	1.1
		3年生	32.7%	43.0%	20.6%	3.7%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	26.4%	65.1%	7.0%	1.6%	1.3
		2年生	23.4%	66.7%	7.2%	2.7%	1.2
		3年生	29.0%	59.8%	7.5%	3.7%	1.3
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	27.1%	65.1%	6.2%	1.6%	1.4
		2年生	28.8%	56.8%	9.9%	4.5%	1.2
		3年生	37.4%	49.5%	9.3%	3.7%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	24.0%	66.7%	7.0%	2.3%	**1.2**
		2年生	23.4%	65.8%	10.8%	0.0%	**1.3**
		3年生	28.0%	64.5%	5.6%	1.9%	**1.4**



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

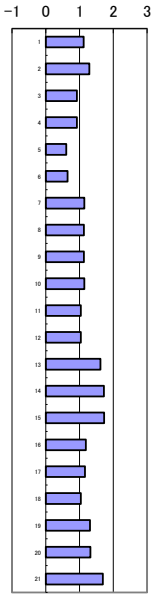
（No.17）
本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



【分析・考察】
○学園が大切にしている飲酒運転根絶への取組みは今年度も高評価を得ており、この活動がしっかりと根付いていると思われる。（B-17）
○他との比較では決して高い数値ではないが、今年本格的に再開した育英祭については、昨年より2・3年の評価値が倍増しており、改めて学校行事の意義を認識させられるものだと考える。（B-16）
○B14の「ゼロディフェクト」については、数値としては低いが、昨年度から全学年で評価値が上がっており、服装・頭髪の指導など少しずつ生徒の意識が改善されている。しかし、このような日々の生活や遅刻や早退等に、問題行動の糸口が隠されていることを再確認して、指導にあたって行きたい。（B-14）

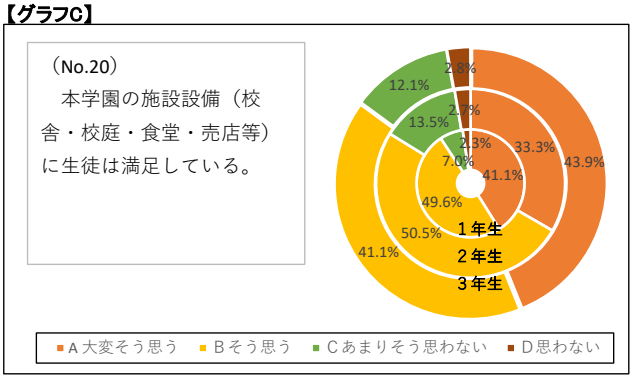
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	20.9%	68.2%	7.0%	3.9%	1.1
		2年生	27.0%	60.4%	12.6%	0.0%	1.3
		3年生	26.2%	50.5%	16.8%	6.5%	0.9
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	16.3%	67.4%	12.4%	3.9%	0.9
		2年生	13.5%	57.7%	24.3%	4.5%	0.6
		3年生	22.4%	48.6%	17.8%	11.2%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	21.7%	66.7%	8.5%	3.1%	1.1
		2年生	21.6%	64.0%	13.5%	0.9%	1.1
		3年生	27.1%	56.1%	13.1%	3.7%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	22.5%	65.1%	9.3%	3.1%	1.1
		2年生	27.9%	50.5%	17.1%	4.5%	1.0
		3年生	29.0%	50.5%	14.0%	6.5%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	37.2%	57.4%	4.7%	0.8%	1.6
		2年生	46.8%	44.1%	7.2%	1.8%	1.7
		3年生	47.7%	44.9%	3.7%	3.7%	1.7
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	20.9%	69.0%	8.5%	1.6%	1.2
		2年生	21.6%	65.8%	11.7%	0.9%	1.2
		3年生	28.0%	54.2%	9.3%	8.4%	1.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	28.7%	60.5%	8.5%	2.3%	1.3
		2年生	32.4%	53.2%	12.6%	1.8%	1.3
		3年生	43.9%	48.6%	5.6%	1.9%	1.7



C　その他

【グラフC】

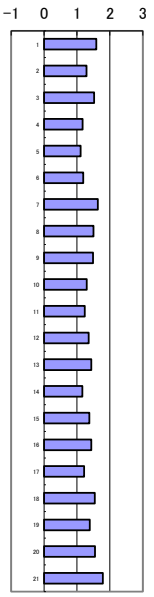


【分析・考察】

○Cの全項目で昨年度の評価値を上回った。特に本学園の施設設備については、さらに高い結果である。学園内のICT環境などが活用されてきているものと推察する。(C-20)
○C22のICTを用いた連絡体制についても、2・3年生の評価値が上がっている。これは新型コロナ感染対策C26の評価とも連動した結果であり、欠席等の連絡がClassiから来ており、Slackを活用して詳細なやり取りがスムーズに行えることを反映した評価結果と思われる。(C-22)
○ZoomとClassを活用して、土曜日のオンライン授業が円滑に進んでいるが、さらに効果的活用に向けてChatGPTなどの研究を行い、生徒の達成感を高めるべく指導法の工夫を進めていきたい。

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	41.1%	49.6%	7.0%	2.3%	1.6
		2年生	33.3%	50.5%	13.5%	2.7%	1.3
		3年生	43.9%	41.1%	12.1%	2.8%	1.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	22.5%	65.9%	9.3%	2.3%	1.2
		2年生	25.2%	57.7%	14.4%	2.7%	1.1
		3年生	33.6%	46.7%	15.0%	4.7%	1.2
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	38.8%	55.8%	3.9%	1.6%	1.6
		2年生	35.1%	55.9%	8.1%	0.9%	1.5
		3年生	36.4%	55.1%	4.7%	3.7%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	27.1%	62.8%	7.8%	2.3%	1.3
		2年生	25.2%	63.1%	9.9%	1.8%	1.2
		3年生	30.8%	59.8%	5.6%	3.7%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	28.7%	65.1%	5.4%	0.8%	1.4
		2年生	24.3%	61.3%	12.6%	1.8%	1.2
		3年生	30.8%	58.9%	8.4%	1.9%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	36.4%	51.9%	8.5%	3.1%	1.4
		2年生	27.0%	59.5%	10.8%	2.7%	1.2
		3年生	33.6%	62.6%	0.9%	2.8%	1.5
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	32.6%	57.4%	7.0%	3.1%	1.4
		2年生	38.2%	51.8%	9.1%	0.9%	1.5
		3年生	49.5%	43.0%	4.7%	2.8%	1.8



調査結果と考察

5 情報科学コース

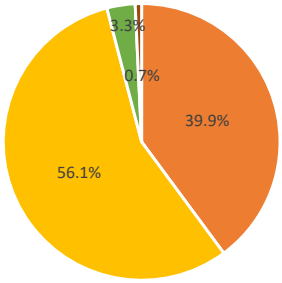
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。



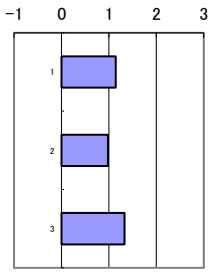
【分析・考察】

○保護者の肯定的評価が最も高いのが、生徒と同様にA8資格試験の進路達成への効果であり、情報科学コースの特色としてしっかりを得ていると考えられる。さらに本コースの志望者増加につなげていくために、実績を高めていきたい。（A-8）
○A1～3の授業についてはまだ物足りない数値であるが、昨年度の評価値と比較すると、3項目共に2ポイント程度上昇している。ClassやAIの活用などの実践が保護者にも少しずつ理解されてきていると思われる。（A-1～3）
○A4の学習への満足度やA11の進路相談の2項目で、昨年より評価値が4ポイント上昇している。オンライン授業や日々のslackによる情報発信によって、コースの取組みが保護者にも浸透していると言えるが、さらに丁寧に発信していくことを継続していきたい。（A-4・11）

【表A】

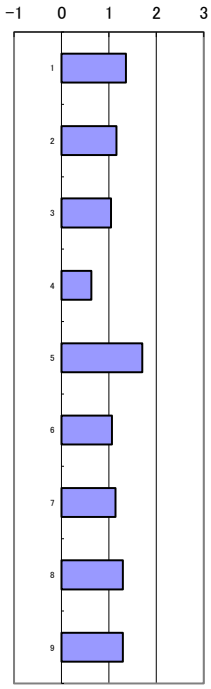
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	18.4%	70.7%	10.5%	0.3%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	15.1%	69.1%	15.5%	0.3%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	23.4%	70.1%	6.3%	0.3%	1.3



Ⅱ 教育課程について

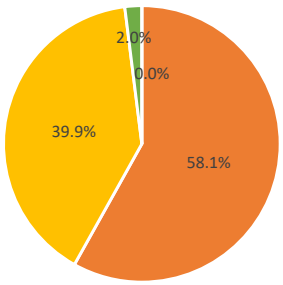
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	25.0%	68.4%	6.3%	0.3%	1.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	19.1%	70.0%	10.6%	0.3%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	14.5%	73.6%	11.6%	0.3%	1.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	10.9%	61.4%	26.1%	1.7%	0.6
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	39.9%	56.1%	3.3%	0.7%	1.7
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	16.5%	71.0%	11.9%	0.7%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	18.8%	70.3%	9.9%	1.0%	1.1
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	24.4%	66.3%	8.9%	0.3%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	23.4%	68.3%	7.9%	0.3%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.17）
本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。

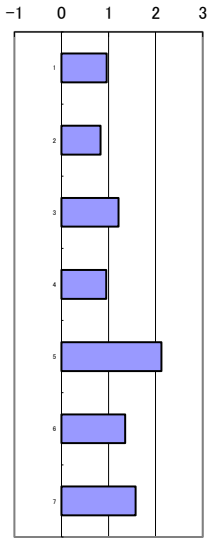


【分析・考察】

○Bの6項目において評価値が向上している。特に飲酒運転根絶への取り組みは、生徒とともに保護者からも大変高い評価を得ており、昨年度よりも数値が上昇し、2.1ポイントという高い結果を示した。本学園が大切にしているこの運動が十分浸透しているものと思われる。（B-17）
○B16 の育英祭の評価値も生徒と同様に倍増しており、保護者にとっても学校行事の大切さが再認識されたものと考える。今後もさらによりよいものに改善して実施していきたい。（B-16）
○B14の数値が比較的低いままであるが、昨年度よりは2ポイント改善されている。生徒指導で、保護者との連絡・連携をなお一層綿密にしていくよう取り組んでいきたい。（B-14）

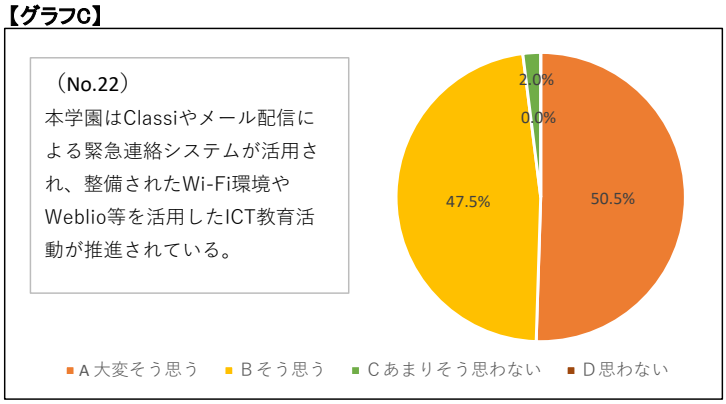
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.9%	70.9%	14.6%	0.7%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.2%	73.9%	16.2%	0.7%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	19.8%	71.6%	7.9%	0.7%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	16.5%	65.4%	17.5%	0.7%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	58.1%	39.9%	2.0%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	24.1%	69.6%	5.9%	0.3%	1.4
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	34.7%	59.7%	5.3%	0.3%	1.6



C　その他

【グラフC】

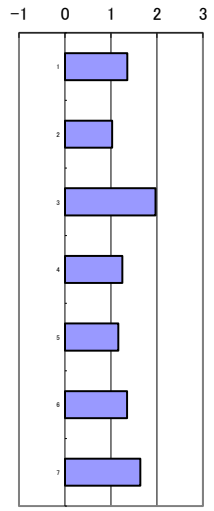


【分析・考察】

○Cの6項目で昨年度を上回る評価値を示しており、本学園の活動が理解を得ていることが見て取れる。
○緊急連絡システムやオンラインを活用したICT教育については、生徒と同様に保護者の満足度もかなり高い。本コースとしての取り組みが定着し、保護者にも十分浸透している結果であり、今後も方向性を持ってぶれずに進んでいきたい。(C-22)
○特別な支援・配慮を要する生徒等へのきめ細やかな指導については、昨年よりも大きく改善され、0．4ポイント評価値が上昇した。今後もさらに十分に留意して対応していきたい。(C-24)
○良好な人間関係づくりの評価値が昨年より0.4ポイント上昇しているのは、うれしい結果である。体罰やハラスメント根絶に向けてより一層、心して対応していきたい。(C-25)

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	33.3%	54.1%	9.6%	3.0%	1.4
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	13.9%	74.6%	10.6%	1.0%	1.0
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	50.5%	47.5%	2.0%	0.0%	2.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	26.1%	61.4%	11.6%	1.0%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	22.1%	64.7%	12.2%	1.0%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	24.8%	68.9%	5.3%	1.0%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	36.0%	60.4%	3.3%	0.3%	1.6



調査結果と考察

5 情報科学コース

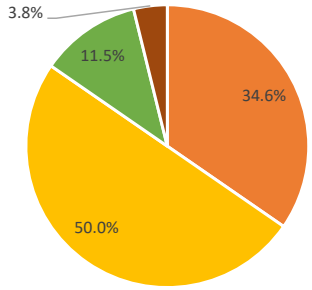
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×３＋B度数×１＋C度数×（－１）＋D度数×（－３）÷（総度数）

（3）教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.1）
授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。



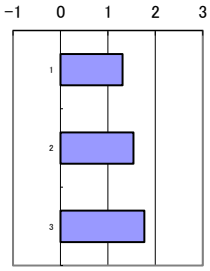
【分析・考察】

○授業についてはオンラインも交えた進路達成に向けてふさわしいものになっている、についての評価が昨年より低くなっているの気になるところである。さらにオンライン授業の内容をさらに向上させるための研修等を実施していきたい。コースの特性を活かした活動が進路実現に効果、は高評価を保っている。コースの特色を発揮しながら教育活動を改善していこうとする意欲をさらに高めていきたい。（A-1・3）
○資格試験への取り組みが進路達成につながることの評価も例年通りとても高く、目標にむけて情報科をサポートしながらコースとして取り組んでいる自負が感じられる。（A-8）
○生徒からの相談への対応や面談及び教育懇談の実施についても評価は高く、さらに数値が上がっている。担任だけでなく、コース全体で対応していることが実感できているものと思われる。（A-12）

【表A】

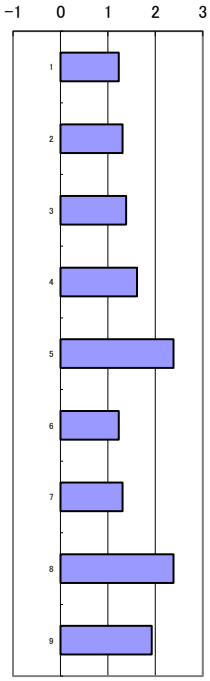
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	34.6%	50.0%	11.5%	3.8%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	42.3%	46.2%	7.7%	3.8%	1.5
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	1.8



Ⅱ 教育課程について

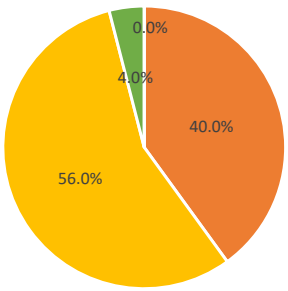
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	23.1%	65.4%	11.5%	0.0%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	38.5%	38.5%	23.1%	0.0%	1.3
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	30.8%	57.7%	11.5%	0.0%	1.4
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	46.2%	42.3%	7.7%	3.8%	1.6
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	73.1%	23.1%	3.8%	0.0%	2.4
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	30.8%	53.8%	11.5%	3.8%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	34.6%	50.0%	11.5%	3.8%	1.3
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	2.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	50.0%	46.2%	3.8%	0.0%	1.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.13）
学園の教育理念（「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」）が教育の中で大切にされている。

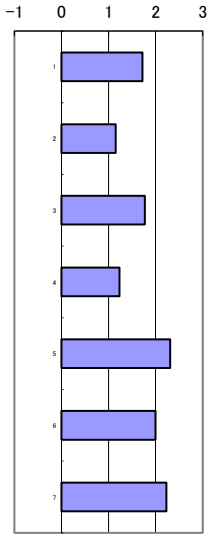


【分析・考察】

○学園の教育理念を教育活動の中に活かすことについては、高評価を保っている。（B-13）
○特に本校生徒会が中心となって取り組む飲酒運転根絶運動について評価が高く、新しく加わったスタッフを含め、この運動の重要性が理解されている。（B-17）
○また新型コロナウイルス感染症対策についても評価は高いままであり、校長先生のご指導に基づき共通理解のもと取り組むことができているという認識であると思われる。（B-19）
○ゼロディフェクトの成果については、昨年度よりも0.8ポイント低下しており、生徒の基本的な生活にやや不安を感じていると思われる。細やかな面談とそれらの情報を共有することで、問題行動を防止する方向に取り組みを進めていきたい。（B-14）

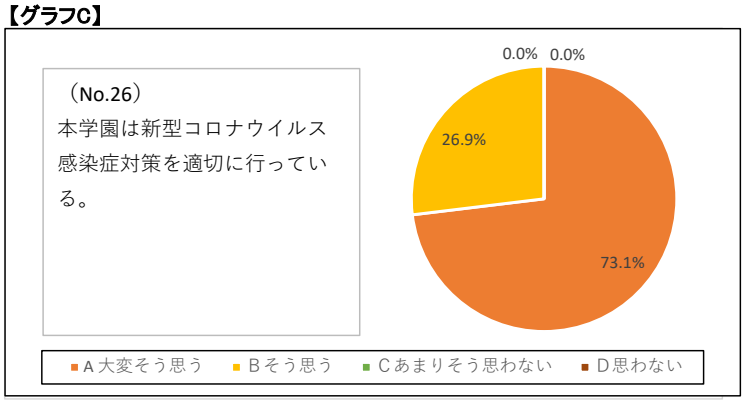
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	40.0%	56.0%	4.0%	0.0%	1.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	30.8%	50.0%	15.4%	3.8%	1.2
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	1.8
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	30.8%	50.0%	19.2%	0.0%	1.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	65.4%	34.6%	0.0%	0.0%	2.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	53.8%	42.3%	3.8%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	65.4%	30.8%	3.8%	0.0%	2.2



C　その他

【グラフC】

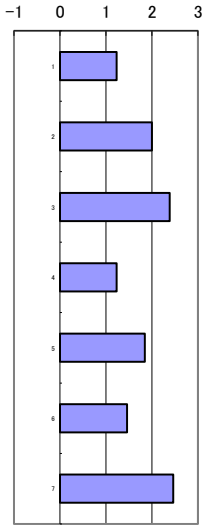


【分析・考察】

○新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策には、かなり高い評価結果が示されている。校長先生の明確な基準に基づいた予防対策が、インフルエンザ感染対策にも適応されて、大きな混乱がなく、対応できているといういい認識が見て取れる。(C-26)
○緊急連絡体制の整備やICTを活用した教育活動推進については、昨年同様に高評価であり、教員も指導の手ごたえを感じているにものと思われる。(C-22)
○生徒が目標達成に向けて努力しているとの評価がやや下降気味であり、教育課程の特色を生かしながら、生徒とよく面談などでコミュニケーションが取り、日々の生活を充実させるよう、一層の指導が必要であると考える。(C－23)

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	38.5%	38.5%	19.2%	3.8%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	57.7%	34.6%	7.7%	0.0%	2.0
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	2.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	26.9%	61.5%	7.7%	3.8%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	46.2%	50.0%	3.8%	0.0%	1.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	42.3%	46.2%	3.8%	7.7%	1.5
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	73.1%	26.9%	0.0%	0.0%	2.5



調査結果と考察

6 フレックスコース

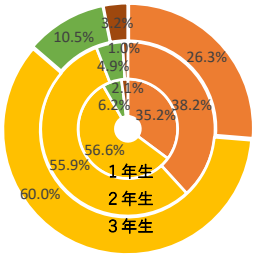
（1）生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立ってい



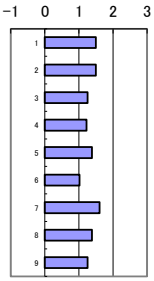
■A大変そう思う ■Bそう思う ■Cあまりそう思わない ■D思わない

【分析・考察】
○グラフA（設問8）より
高校時代に努力した証として各種資格取得検定試験の価値を認識している生徒が多い。先生方の丁寧な指導と生徒の向上心がマッチしている。（A-8）
○表A（設問3）より
本校フレックスコースの特長である部活動や各種検定試験の取組みが進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。（A-3）

【表A】

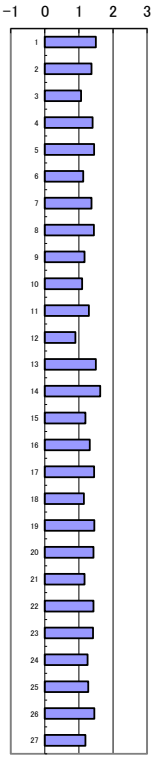
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	35.2%	56.6%	6.2%	2.1%	1.5
		2年生	35.6%	54.8%	8.7%	1.0%	1.5
		3年生	26.3%	63.2%	7.4%	3.2%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	26.2%	60.7%	11.0%	2.1%	1.2
		2年生	31.4%	57.1%	10.5%	1.0%	1.4
		3年生	17.9%	67.4%	12.6%	2.1%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	37.2%	57.2%	4.1%	1.4%	1.6
		2年生	31.7%	57.7%	8.7%	1.9%	1.4
		3年生	27.4%	61.1%	8.4%	3.2%	1.3



Ⅱ 教育課程について

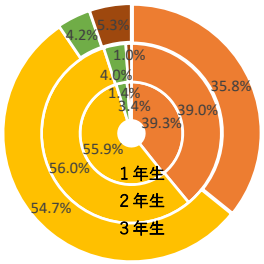
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	34.5%	57.9%	5.5%	2.1%	1.5
		2年生	32.0%	55.3%	11.7%	1.0%	1.4
		3年生	26.3%	56.8%	10.5%	6.3%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	29.7%	61.4%	8.3%	0.7%	1.4
		2年生	29.1%	65.0%	4.9%	1.0%	1.4
		3年生	24.2%	61.1%	11.6%	3.2%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	29.7%	60.7%	8.3%	1.4%	1.4
		2年生	30.8%	61.5%	6.7%	1.0%	1.4
		3年生	24.2%	64.2%	7.4%	4.2%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	24.8%	57.9%	14.5%	2.8%	1.1
		2年生	31.4%	52.9%	14.7%	1.0%	1.3
		3年生	18.9%	62.1%	13.7%	5.3%	0.9
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	35.2%	56.6%	6.2%	2.1%	1.5
		2年生	38.2%	55.9%	4.9%	1.0%	1.6
		3年生	26.3%	60.0%	10.5%	3.2%	1.2
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	27.6%	62.1%	9.0%	1.4%	1.3
		2年生	33.0%	57.3%	8.7%	1.0%	1.4
		3年生	22.1%	66.3%	8.4%	3.2%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	28.3%	66.9%	4.1%	0.7%	1.5
		2年生	31.1%	60.2%	7.8%	1.0%	1.4
		3年生	23.2%	64.2%	10.5%	2.1%	1.2
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	33.1%	57.2%	7.6%	2.1%	1.4
		2年生	32.4%	58.8%	5.9%	2.9%	1.4
		3年生	29.5%	58.9%	6.3%	5.3%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	25.5%	64.8%	7.6%	2.1%	1.3
		2年生	29.4%	64.7%	4.9%	1.0%	1.5
		3年生	25.3%	63.2%	7.4%	4.2%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.17）
本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。

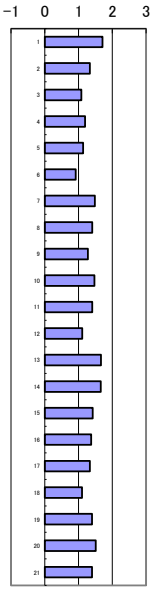


■A大変そう思う ■Bそう思う ■Cあまりそう思わない ■D思わない

【分析・考察】
○グラフB（設問17）より
本学園生徒会が中心になって取り組んでいる飲酒運転根絶運動に対して、命の大切さについて認識を深める学びの機会であるとしっかりと考えている結果である。i-Lion dayの取組の成果である。（B-17）
○表B（設問14）より
ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）について、他の項目に比べて評価が低い。基本的生活習慣が身についていない生徒に問題行動や服装・頭髪等のみだれが見受けられるため、家庭の協力を得ながら、ルールを守ることの大切さを心に響くように指導に努めたい。（B-14）

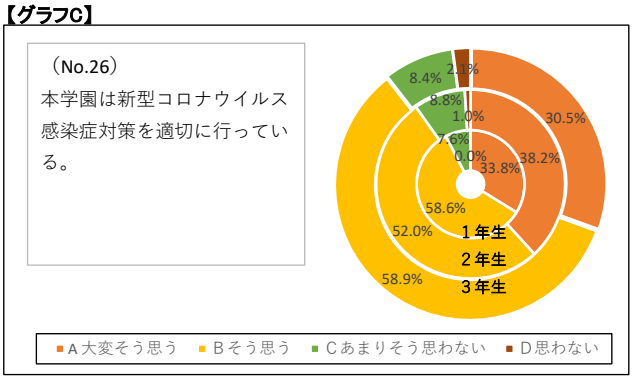
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	43.1%	50.7%	4.9%	1.4%	1.7
		2年生	31.4%	55.9%	10.8%	2.0%	1.3
		3年生	24.2%	60.0%	11.6%	4.2%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	26.9%	58.6%	11.7%	2.8%	1.2
		2年生	27.2%	55.3%	14.6%	2.9%	1.1
		3年生	20.0%	63.2%	9.5%	7.4%	0.9
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	32.4%	61.4%	4.1%	2.1%	1.5
		2年生	33.0%	57.3%	6.8%	2.9%	1.4
		3年生	29.5%	60.0%	5.3%	5.3%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	35.2%	55.2%	7.6%	2.1%	1.5
		2年生	32.0%	58.3%	7.8%	1.9%	1.4
		3年生	30.9%	53.2%	6.4%	9.6%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	39.3%	55.9%	3.4%	1.4%	1.7
		2年生	39.0%	56.0%	4.0%	1.0%	1.7
		3年生	35.8%	54.7%	4.2%	5.3%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	29.9%	61.1%	6.9%	2.1%	1.4
		2年生	32.7%	53.5%	11.9%	2.0%	1.3
		3年生	24.2%	63.2%	6.3%	6.3%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	31.0%	59.3%	8.3%	1.4%	1.4
		2年生	36.3%	53.9%	8.8%	1.0%	1.5
		3年生	33.7%	57.9%	3.2%	5.3%	1.4



C　その他

【グラフC】

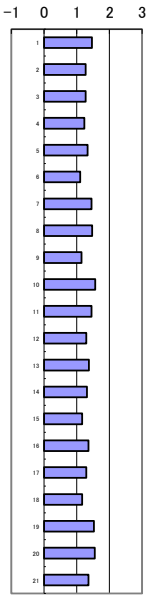


【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策については、予防策及び、感染者に対する迅速な対応等、適切に行っているとの結果に繋がっている。(C-26)
○表C(設問23)より
学習と部活動の両立を図りながら、高い目標に向かって日々努力していることが数値に表れている。生徒一人一人の目標達成に向けて支援に努めたい。(C-23)

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	37.2%	52.4%	6.9%	3.4%	1.5
		2年生	32.4%	55.9%	4.9%	6.9%	1.3
		3年生	29.5%	58.9%	7.4%	4.2%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	27.6%	60.0%	9.0%	3.4%	1.2
		2年生	32.4%	55.9%	7.8%	3.9%	1.3
		3年生	24.2%	61.1%	10.5%	4.2%	1.1
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	30.3%	62.8%	6.2%	0.7%	1.5
		2年生	34.3%	56.9%	6.9%	2.0%	1.5
		3年生	25.3%	61.1%	9.5%	4.2%	1.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	37.9%	54.5%	5.5%	2.1%	1.6
		2年生	35.3%	54.9%	6.9%	2.9%	1.5
		3年生	30.5%	58.9%	5.3%	5.3%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	29.0%	62.8%	6.2%	2.1%	1.4
		2年生	27.5%	61.8%	9.8%	1.0%	1.3
		3年生	27.4%	57.9%	10.5%	4.2%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	30.3%	59.3%	8.3%	2.1%	1.4
		2年生	29.4%	58.8%	8.8%	2.9%	1.3
		3年生	24.2%	64.2%	7.4%	4.2%	1.2
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	33.8%	58.6%	7.6%	0.0%	1.5
		2年生	38.2%	52.0%	8.8%	1.0%	1.5
		3年生	30.5%	58.9%	8.4%	2.1%	1.4



調査結果と考察

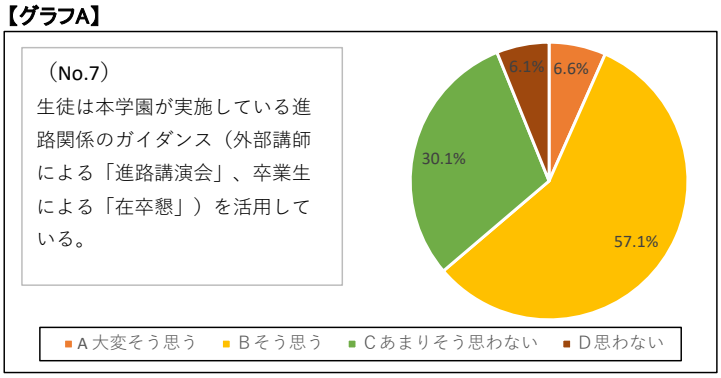
6 フレックスコース

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝(A度数×3＋B度数×1＋C度数×(－1)＋D度数×(－3)÷(総度数)

(2)保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



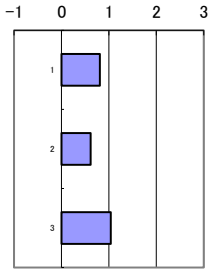
【分析・考察】

○グラフA(設問7)より
生徒・教職員と同様に「進路ガイダンス」「在卒懇」の活用が十分ではないことを示している。特に実施後、生徒から保護者への報告等がないため、評価へ繋がらない結果と推察される。実施の方法の工夫や内容の充実及び保護者への発信方法を新たに考えていきたい。(A-7)
○表A(設問3)より
本コース特長を理解していただいており、進路実現に役立っていると評価していただいている。(A-3)

【表A】

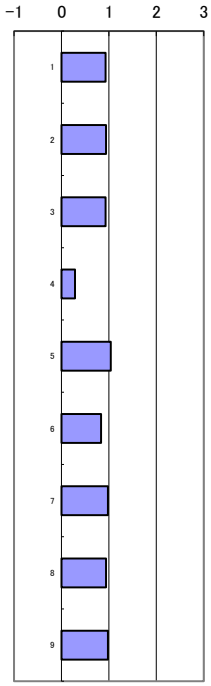
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	15.2%	61.6%	21.7%	1.5%	0.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	8.6%	65.5%	23.9%	2.0%	0.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実	18.6%	65.8%	14.6%	1.0%	1.0



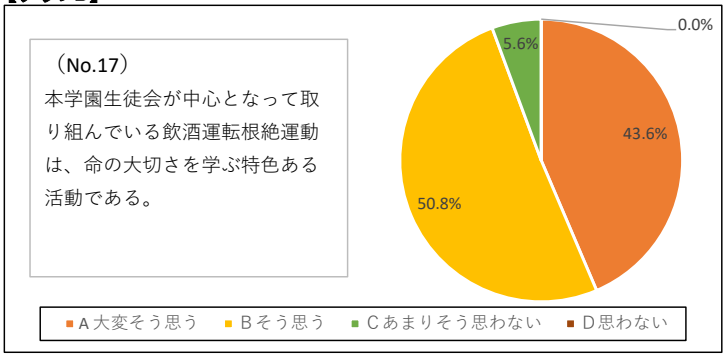
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.6%	63.8%	16.1%	2.5%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	15.1%	68.3%	15.1%	1.5%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	12.6%	72.2%	14.1%	1.0%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	6.6%	57.1%	30.1%	6.1%	0.3
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は,生徒の進路達成に役立っている。	16.3%	69.9%	13.3%	0.5%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	12.3%	68.7%	17.4%	1.5%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	14.4%	70.8%	14.4%	0.5%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	21.0%	61.0%	11.8%	6.2%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	19.1%	64.4%	12.9%	3.6%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

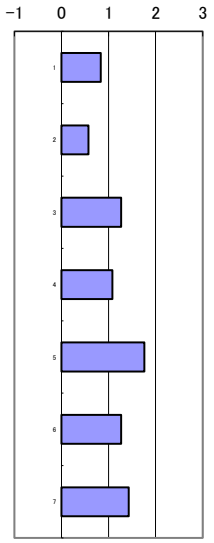


【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
生徒・教職員と同じく学園生徒会が中心に取り組んでいる飲酒運転根絶運動の取組みに高い評価をしていただいていることが現れている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として今後も継続して取り組んでいかなければならない。(B-17)
○表B(設問14)より
保護者の皆様も、ゼロディフェクト運動の成果が上がっていないと評価される方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導等を工夫して実施していきたい。(B-14)

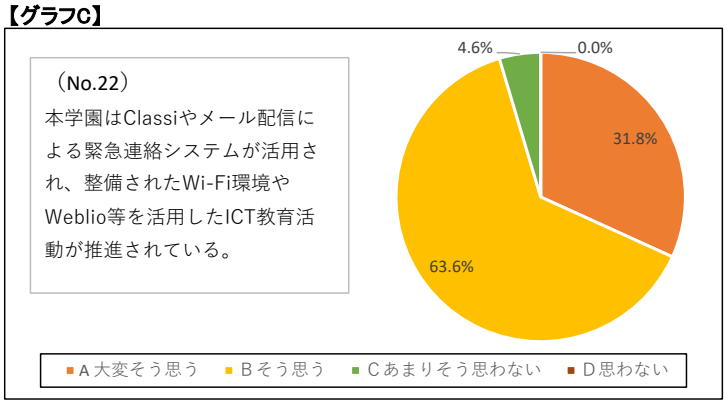
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	14.4%	66.0%	16.5%	3.1%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	8.8%	64.2%	23.8%	3.1%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	23.2%	67.5%	8.8%	0.5%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	22.7%	61.3%	13.4%	2.6%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	43.6%	50.8%	5.6%	0.0%	1.8
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	23.8%	66.3%	9.3%	0.5%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	30.3%	61.0%	8.7%	0.0%	1.4



C　その他

【グラフC】

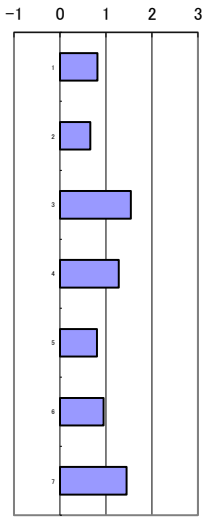


【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して2年目となる。クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきたが、授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)
○表C(設問21)より
組織的ないじめ対応については、教職員の認識と大きな開きがある。これは、学校が個別の事案にいかに適切に対応しても、広く情報発信ができないため、やむを得ない面もあると考える。
しかしながら、いじめ予防と事案発生からの動きに関しては、これまで以上に周知していく必要がある。(C-21)

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	21.5%	54.4%	17.4%	6.7%	0.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	11.3%	66.2%	16.9%	5.6%	0.7
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	31.8%	63.6%	4.6%	0.0%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	30.9%	55.2%	10.8%	3.1%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	18.5%	59.0%	16.9%	5.6%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	18.5%	66.7%	8.7%	6.2%	0.9
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	30.3%	62.6%	6.7%	0.5%	1.5



調査結果と考察

6 フレックスコース

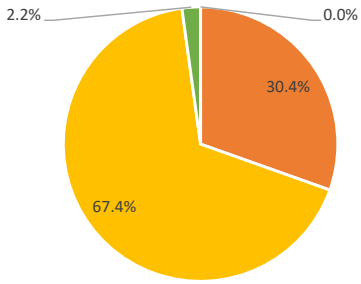
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.3）
平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の

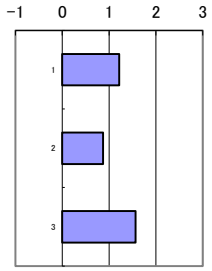


【分析・考察】
○グラフA（設問3）より
本校コースの特長である部活動や各種検定試験の取組み、学校設定科目の授業設定等が、進路希望達成に役立っていると評価されている。今後もさらに充実を図りたい。（A-3）
○表A（設問11）より
生徒の学習や進路についての悩みに先生方が適切に対応していると評価しているもので、様々な問題を抱えた生徒の悩みなどに寄り添った支援・指導を行っていることが現れている。（A-11）

【表A】

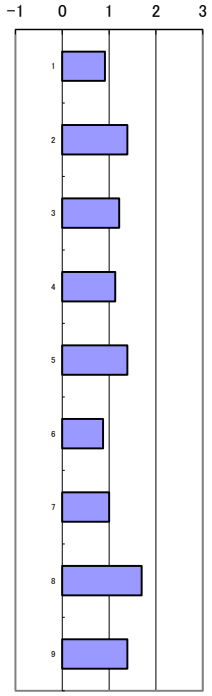
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	17.4%	76.1%	6.5%	0.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	13.0%	67.4%	19.6%	0.0%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	30.4%	67.4%	2.2%	0.0%	1.6



Ⅱ 教育課程について

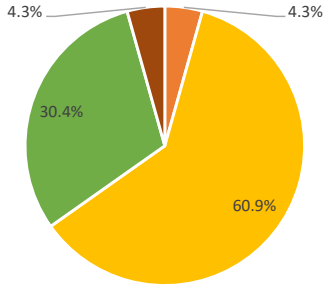
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	8.7%	78.3%	13.0%	0.0%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	26.1%	67.4%	6.5%	0.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	26.1%	58.7%	15.2%	0.0%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	19.6%	67.4%	13.0%	0.0%	1.1
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	34.8%	50.0%	15.2%	0.0%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	17.4%	63.0%	15.2%	4.3%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.2%	69.6%	15.2%	0.0%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	34.8%	65.2%	0.0%	0.0%	1.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	23.9%	71.7%	4.3%	0.0%	1.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

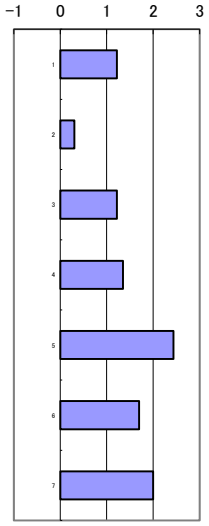
（No.14）
ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）は成果を上げている。



【分析・考察】
○グラフB（設問14）より
低い数値にはなっているが、日常的に声掛けを行い指導しているところは高く評価したい。教員と生徒の信頼関係を築きながら、あるべき仙台育英学園生の姿になるよう粘り強い指導と支援を継続していく。（B-14）
○表B（設問17）より
i-Lion Dayの取り組みにより、意識が高まったものと考察できる。（B-17）

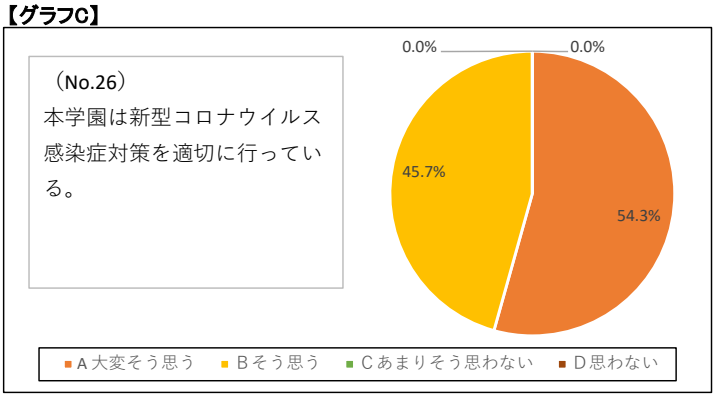
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念（「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」）が教育の中で大切にされている。	28.3%	54.3%	17.4%	0.0%	1.2
14	ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）は成果を上げている。	4.3%	60.9%	30.4%	4.3%	0.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	21.7%	67.4%	10.9%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	28.3%	63.0%	6.5%	2.2%	1.3
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	71.7%	28.3%	0.0%	0.0%	2.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	52.2%	45.7%	2.2%	0.0%	2.0



C　その他

【グラフC】

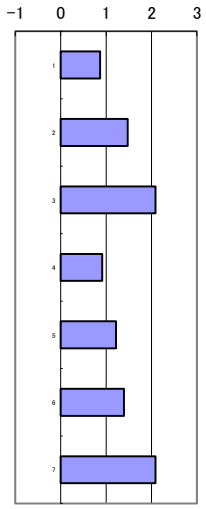


【分析・考察】

○グラフC（設問26）より
予防策の徹底と発生後の迅速かつ適切な対応が各クラス担任・部活動顧問とも、徹底していることが、評価に繋がっている。（C-26）
○表C（設問22）より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して2年目となる。クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきたが、授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。（C-22）

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備（校舎・校庭・食堂・売店等）に生徒は満足している。	15.2%	67.4%	13.0%	4.3%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	30.4%	63.0%	6.5%	0.0%	1.5
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	54.3%	45.7%	0.0%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	13.0%	71.7%	13.0%	2.2%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	19.6%	71.7%	8.7%	0.0%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	26.1%	69.6%	2.2%	2.2%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	54.3%	45.7%	0.0%	0.0%	2.1



調査結果と考察

7 技能開発コース

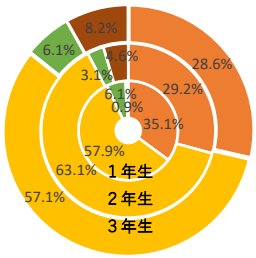
（1）生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。

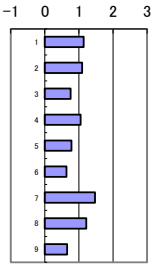


【分析・考察】
○グラフA（設問8）より
高校時代に努力した証として各種資格取得検定試験の価値を認識している生徒が多い。取得した資格とともに、自分自身に対する自信をもって就職試験・入学試験に臨む姿が見受けられる。（A-8）
○表A（設問3）より
本校技能開発コースの特長である部活動や各種検定試験の取組み、学校設定科目の授業設定等が進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。（A-3）

【表A】

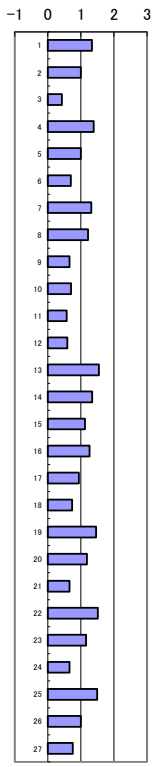
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	22.8%	62.3%	14.0%	0.9%	1.1
		2年生	27.7%	56.9%	7.7%	7.7%	1.1
		3年生	22.4%	54.1%	12.2%	11.2%	0.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	23.7%	57.9%	15.8%	2.6%	1.1
		2年生	23.1%	50.8%	18.5%	7.7%	0.8
		3年生	21.4%	48.0%	21.4%	9.2%	0.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	30.7%	63.2%	5.3%	0.9%	1.5
		2年生	30.8%	53.8%	10.8%	4.6%	1.2
		3年生	20.4%	55.1%	11.2%	13.3%	0.7



Ⅱ 教育課程について

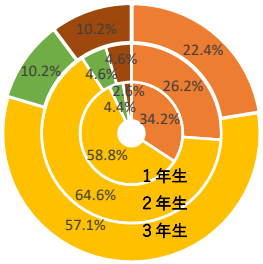
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	29.8%	57.9%	11.4%	0.9%	1.3
		2年生	24.6%	58.5%	9.2%	7.7%	1.0
		3年生	20.4%	48.0%	14.3%	17.3%	0.4
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	28.1%	65.8%	3.5%	2.6%	1.4
		2年生	21.5%	63.1%	9.2%	6.2%	1.0
		3年生	22.4%	53.1%	11.2%	13.3%	0.7
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	29.8%	59.6%	7.0%	3.5%	1.3
		2年生	23.1%	69.2%	3.1%	4.6%	1.2
		3年生	20.4%	53.1%	15.3%	11.2%	0.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	1年生	16.7%	57.0%	21.1%	5.3%	0.7
		2年生	20.0%	47.7%	23.1%	9.2%	0.6
		3年生	19.6%	51.5%	17.5%	11.3%	0.6
8	各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	35.1%	57.9%	6.1%	0.9%	1.5
		2年生	29.2%	63.1%	3.1%	4.6%	1.3
		3年生	28.6%	57.1%	6.1%	8.2%	1.1
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	27.2%	60.5%	10.5%	1.8%	1.3
		2年生	18.5%	66.2%	9.2%	6.2%	0.9
		3年生	18.4%	61.2%	9.2%	11.2%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	29.8%	64.9%	3.5%	1.8%	1.5
		2年生	24.6%	64.6%	6.2%	4.6%	1.2
		3年生	15.3%	64.3%	8.2%	12.2%	0.7
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	33.3%	60.5%	4.4%	1.8%	1.5
		2年生	27.7%	61.5%	1.5%	9.2%	1.2
		3年生	18.4%	60.2%	7.1%	14.3%	0.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	31.6%	62.3%	5.3%	0.9%	1.5
		2年生	21.5%	64.6%	6.2%	7.7%	1.0
		3年生	15.5%	63.9%	13.4%	7.2%	0.8



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

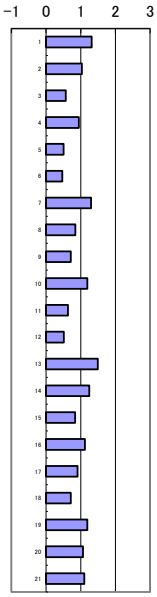
（No.17）
本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



【分析・考察】
○グラフB（設問17）より
本学園生徒会が中心になって取り組んでいる飲酒運転根絶運動に対して、命の大切さについて認識を深める学びの機会であるとしっかりと考えている結果である。I-Lion dayの取組の成果である。（B-17）
○表B（設問14）より
ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）について、2学年並びに3学年の数値が下がっている。社会で活躍するためにも学校生活のルールを守ることの大切さを生徒一人一人に心に響くように指導に努めたい。（B-14）

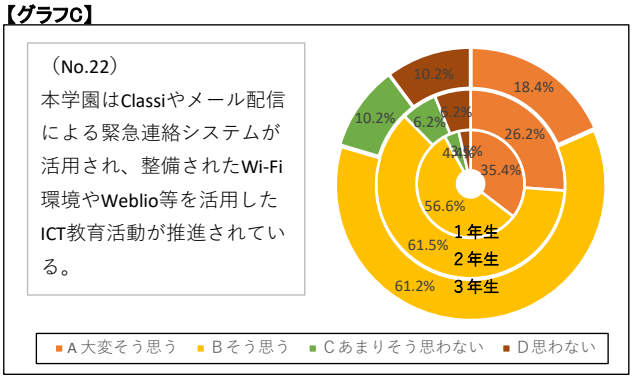
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	28.9%	60.5%	7.9%	2.6%	1.3
		2年生	20.0%	67.7%	6.2%	6.2%	1.0
		3年生	16.3%	58.2%	13.3%	12.2%	0.6
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	21.1%	58.8%	16.7%	3.5%	0.9
		2年生	13.8%	55.4%	23.1%	7.7%	0.5
		3年生	15.3%	56.1%	15.3%	13.3%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	28.9%	59.6%	8.8%	2.6%	1.3
		2年生	15.4%	66.2%	13.8%	4.6%	0.8
		3年生	17.3%	62.2%	9.2%	11.2%	0.7
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	31.6%	50.9%	13.2%	4.4%	1.2
		2年生	15.4%	61.5%	12.3%	10.8%	0.6
		3年生	15.3%	59.2%	11.2%	14.3%	0.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	34.2%	58.8%	4.4%	2.6%	1.5
		2年生	26.2%	64.6%	4.6%	4.6%	1.2
		3年生	22.4%	57.1%	10.2%	10.2%	0.8
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	24.6%	61.4%	9.6%	4.4%	1.1
		2年生	18.5%	66.2%	7.7%	7.7%	0.9
		3年生	16.3%	63.3%	10.2%	10.2%	0.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	23.7%	64.0%	10.5%	1.8%	1.2
		2年生	18.5%	72.3%	3.1%	6.2%	1.1
		3年生	26.8%	56.7%	11.3%	5.2%	1.1



C　その他

【グラフC】

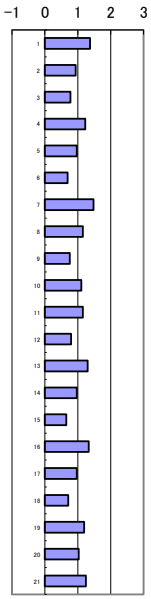


【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して2年目となる。3年生の評価値が低いのはやむを得ない面もある。クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきたが、授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)
○表C(設問20)より
校舎・設備に対する不満は聞こえてこないが、食堂・売店に関しては、生徒の要望やニーズに追いついていない面があるのかもしれない。(C-20)

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	32.7%	55.8%	8.8%	2.7%	1.4
		2年生	23.1%	60.0%	7.7%	9.2%	0.9
		3年生	22.4%	57.1%	7.1%	13.3%	0.8
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	27.4%	60.2%	8.8%	3.5%	1.2
		2年生	23.1%	60.0%	9.2%	7.7%	1.0
		3年生	18.4%	59.2%	11.2%	11.2%	0.7
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進され	1年生	35.4%	56.6%	4.4%	3.5%	1.5
		2年生	26.2%	61.5%	6.2%	6.2%	1.2
		3年生	18.4%	61.2%	10.2%	10.2%	0.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	23.9%	62.8%	8.0%	5.3%	1.1
		2年生	27.7%	56.9%	10.8%	4.6%	1.2
		3年生	19.4%	59.2%	13.3%	8.2%	0.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	31.0%	55.8%	10.6%	2.7%	1.3
		2年生	21.5%	63.1%	7.7%	7.7%	1.0
		3年生	17.3%	58.2%	14.3%	10.2%	0.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	31.0%	56.6%	10.6%	1.8%	1.3
		2年生	20.0%	66.2%	6.2%	7.7%	1.0
		3年生	22.4%	54.1%	10.2%	13.3%	0.7
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	24.8%	62.8%	9.7%	2.7%	1.2
		2年生	23.1%	61.5%	9.2%	6.2%	1.0
		3年生	27.6%	63.3%	3.1%	6.1%	1.2



調査結果と考察

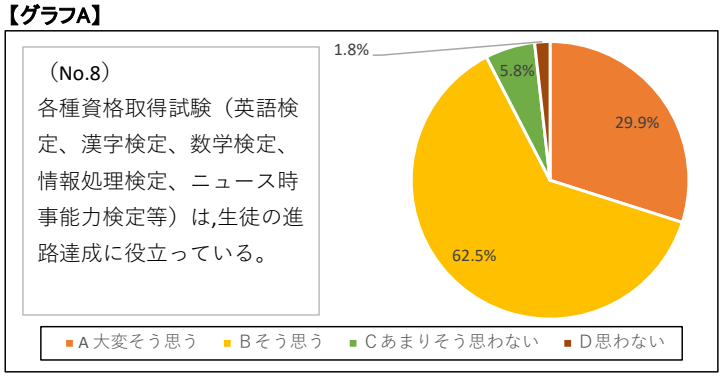
7 技能開発コース

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×３＋B度数×１＋C度数×（－１）＋D度数×（－３）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



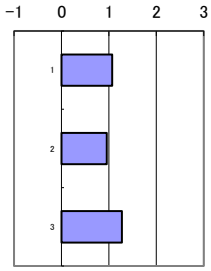
【分析・考察】

○グラフA（設問8）より
高校時代に努力した証として各種資格取得検定試験の価値を認識している生徒が多く、その価値観が親子で共有できていることが、評価の高い要因と推察される。（A-8）
○表A（設問3）より
本コースの特長を理解していただいており、進路実現に役立っていると評価していただいている。今後もより良い教育課程を目指して改善に努めていきたい。（A-3）

【表A】

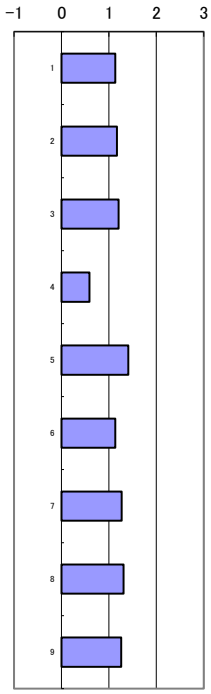
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	21.8%	62.7%	12.9%	2.7%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	21.4%	58.5%	16.5%	3.6%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	26.8%	62.5%	8.5%	2.2%	1.3



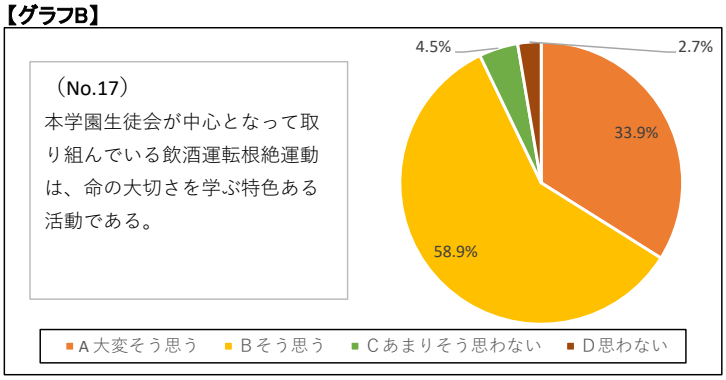
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	24.6%	61.2%	10.7%	3.6%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	22.8%	66.5%	7.1%	3.6%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	24.1%	65.6%	6.7%	3.6%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	15.2%	55.4%	23.2%	6.3%	0.6
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	29.9%	62.5%	5.8%	1.8%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	22.8%	63.8%	10.7%	2.7%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	25.0%	65.6%	7.1%	2.2%	1.3
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	29.8%	60.4%	5.3%	4.4%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	26.8%	62.1%	8.5%	2.7%	1.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

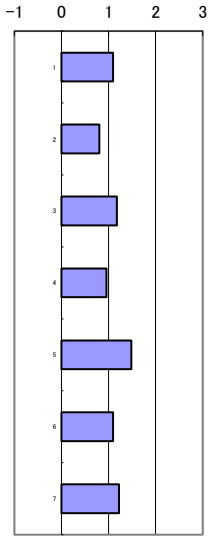


【分析・考察】

○グラフB（設問17）より
生徒・教職員と同じく学園生徒会が中心に取り組んでいる飲酒運転根絶運動の取組に高い評価をしていただいていることが現れている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として今後も継続して取り組んでいかなければならない。（B-17）
○表B（設問14）より
保護者の皆様も、ゼロディフェクト運動（学校生活正常化運動）の成果が上がっていないと評価される方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導等を保護者の皆さまの協力をいただきながら工夫して実施していきたい。（B-14）

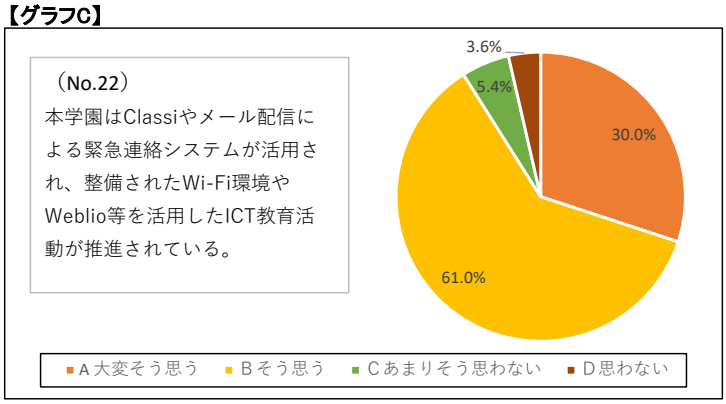
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	21.9%	65.2%	8.9%	4.0%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	16.5%	61.6%	17.4%	4.5%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	24.6%	62.5%	10.3%	2.7%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	23.2%	57.1%	13.8%	5.8%	1.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	33.9%	58.9%	4.5%	2.7%	1.5
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	23.2%	63.4%	8.5%	4.9%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	23.2%	67.4%	6.7%	2.7%	1.2



C　その他

【グラフC】

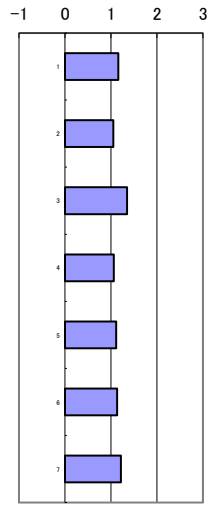


【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。昨年度より1年次生全員がOwnPCを購入していることが、成果として現れつつある。今後は授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)
○表C(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っていると高く評価していただいている。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。(C-26)

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	26.9%	58.3%	10.8%	4.0%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	22.0%	63.7%	9.4%	4.9%	1.1
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	30.0%	61.0%	5.4%	3.6%	1.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	23.8%	60.5%	10.8%	4.9%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	24.6%	60.7%	10.7%	4.0%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	23.2%	64.3%	8.5%	4.0%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	26.0%	62.3%	8.1%	3.6%	1.2



調査結果と考察

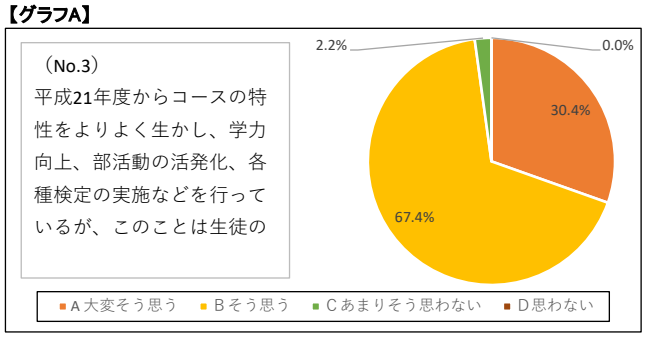
7 技能開発コース

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



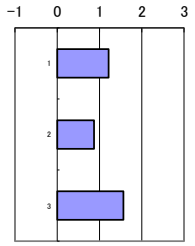
【分析・考察】

○グラフA（設問3）より
本校コースの特長である部活動や各種検定試験の取組み、学校設定科目の授業設定等が進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。（A-3）
○表A（設問11）より
生徒の学習や進路についての悩みに先生方が適切に対応していると評価しているもので、様々な問題を抱えた生徒の悩みなどに寄り添った支援・指導に取り組んできたことの成果が現れている。（A-11）

【表A】

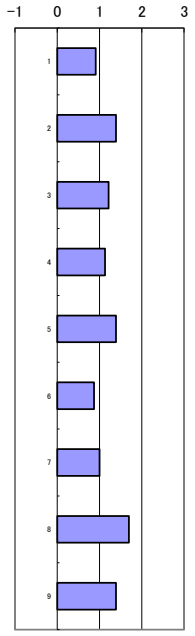
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	17.4%	76.1%	6.5%	0.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	13.0%	67.4%	19.6%	0.0%	0.9
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	30.4%	67.4%	2.2%	0.0%	1.6



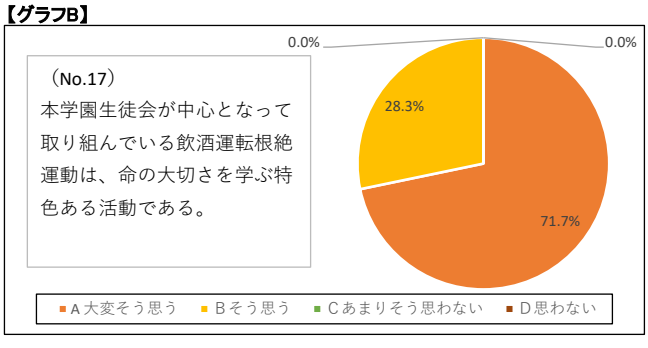
Ⅱ 教育課程について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	8.7%	78.3%	13.0%	0.0%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	26.1%	67.4%	6.5%	0.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	26.1%	58.7%	15.2%	0.0%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	19.6%	67.4%	13.0%	0.0%	1.1
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は,生徒の進路達成に役立っている。	34.8%	50.0%	15.2%	0.0%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	17.4%	63.0%	15.2%	4.3%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.2%	69.6%	15.2%	0.0%	1.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	34.8%	65.2%	0.0%	0.0%	1.7
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	23.9%	71.7%	4.3%	0.0%	1.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

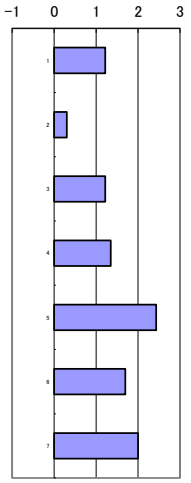


【分析・考察】

○表B（設問17）より
i-Lion Dayの取り組みにより、昨年度比でも大幅な改善が見られ意識が高まったものと考察できる。（B-17）
○グラフB（設問14）より
低い評価値にはなっているが、日常的に声掛けを行い指導しているところは高く評価したい。
　教員と生徒の信頼関係を築きながら、あるべき仙台育英学園生の姿になるよう粘り強い指導と支援を継続していく。（B-14）

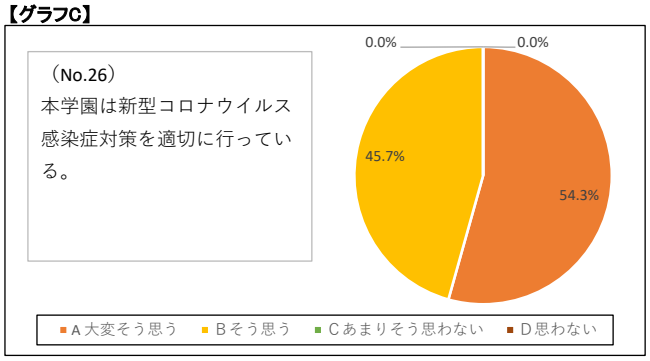
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	28.3%	54.3%	17.4%	0.0%	1.2
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	4.3%	60.9%	30.4%	4.3%	0.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	21.7%	67.4%	10.9%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	28.3%	63.0%	6.5%	2.2%	1.3
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	71.7%	28.3%	0.0%	0.0%	2.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	52.2%	45.7%	2.2%	0.0%	2.0



C　その他

【グラフC】

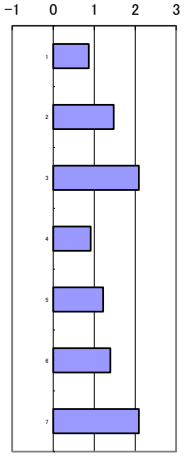


【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
予防策の徹底と発生後の迅速かつ適切な対応が各クラス担任・部活動顧問とも徹底していることが評価に繋がっている。(C-26)
○表C(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。1年次生全員がOwnPCを購入して2年目となる。
**　クラスごとの連絡や教科からの課題配信等は充実してきたが、今後は、授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)**

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	15.2%	67.4%	13.0%	4.3%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	30.4%	63.0%	6.5%	0.0%	1.5
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	54.3%	45.7%	0.0%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	13.0%	71.7%	13.0%	2.2%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	19.6%	71.7%	8.7%	0.0%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	26.1%	69.6%	2.2%	2.2%	1.4
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	54.3%	45.7%	0.0%	0.0%	2.1



調査結果と考察

8 沖縄高等学校

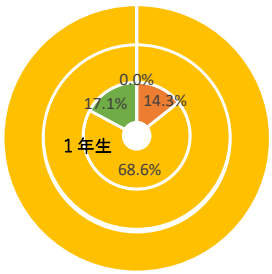
（1）生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×3＋B度数×1＋C度数×（－1）＋D度数×（－3）÷（総度数）

【グラフA】

（No.8）
各種資格取得検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。



■A大変そう思う ■Bそう思う ■Cあまりそう思わない ■D思わない

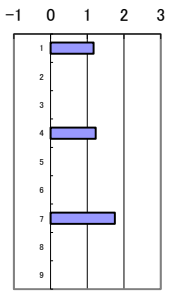
【分析・考察】

（1）グラフA（設問8）より、「各種資格取得試験は、生徒の進路達成に役立っている」について、「あまりそう思わない」が17.1%でした。まだ1年次ということもあり、実質的に「進路達成」という意識にまだ向いていないことや沖縄高等学校では、ICTの関連資格取得が2年次より本格化するため、今後はこの値が減少し、「大変そう思う」や「そう思うに」移行していくと考えられる。（A-8）
（2）表A（設問11・12）より、「先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。」「本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」「教育懇談会」を適切に実施している。」について、「大変そう思う」や「そう思う」の合計がそれぞれ97.1%、94.2%で、これは、常に生徒に寄り添い、保護者への報告や連絡を綿密に行っているため、学校と家庭が連携できていると考えられる。引き続き、丁寧に対応していく。

【表A】

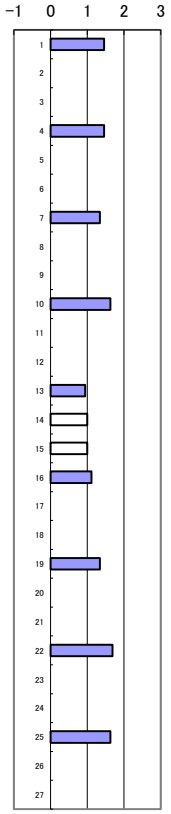
Ⅰ 授業について

No.	設　問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	17.1%	74.3%	8.6%	0.0%	1.2
		2年生					0.0
		3年生					0.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	17.1%	77.1%	5.7%	0.0%	1.2
		2年生					0.0
		3年生					0.0
3	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8
		2年生					0.0
		3年生					0.0



Ⅱ 教育課程について

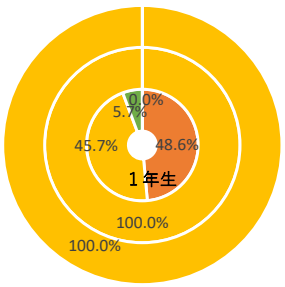
No.	設　問		A	B	C	D	評価値
4	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	1年生	28.6%	65.7%	5.7%	0.0%	1.5
		2年生					0.0
		3年生					0.0
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	22.9%	77.1%	0.0%	0.0%	1.5
		2年生					0.0
		3年生					0.0
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	1年生	22.9%	71.4%	5.7%	0.0%	1.3
		2年生					0.0
		3年生					0.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等）を活用している。	1年生	34.3%	62.9%	2.9%	0.0%	1.6
		2年生					0.0
		3年生					0.0
8	各種資格・検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	14.3%	68.6%	17.1%	0.0%	0.9
		2年生					
		3年生					
9	ゼロディフェクト（学校生活正常化運動）は成果を上げている。	1年生	17.1%	71.4%	11.4%	0.0%	1.1
		2年生					0.0
		3年生					0.0
10	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	20.0%	77.1%	2.9%	0.0%	1.3
		2年生					0.0
		3年生					0.0
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	40.0%	57.1%	0.0%	2.9%	1.7
		2年生					0.0
		3年生					0.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	37.1%	57.1%	5.7%	0.0%	1.6
		2年生					0.0
		3年生					0.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.17）
本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



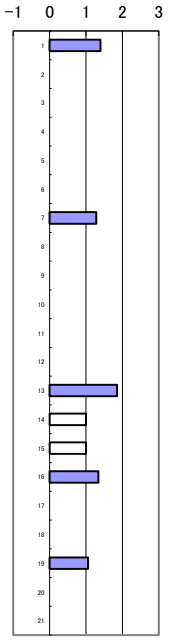
■A大変そう思う ■Bそう思う ■Cあまりそう思わない ■D思わない

【分析・考察】

（1）設問17より、「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」について、「大変そう思う」や「そう思う」が94.3%と回答しています。沖縄は飲酒の文化が根強く未成年の飲酒の検挙件数が多い背景をうかがい知ることができる。今年は沖縄警察署より講話もいただきながら、飲酒運転の恐ろしさなどを扱ったので引き続き関係機関と連携しながら進て行く。（B-17）
（2）設問19より、「本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。」について、「思わない」や「あまり思わない」の合計がそれぞれ20.0%でした。沖縄県の新型コロナウイルスの第5波や第6波は、本州に比べて緩やかであり且つ1学年展開であることも相まって、新型コロナウイルスに罹患することがほぼありません。また、対策そのものや生活様式も一般化しつつあり、積極的に取り組んでいるように思えないことも背景として推察される。今後も油断しないように注意喚起していく。

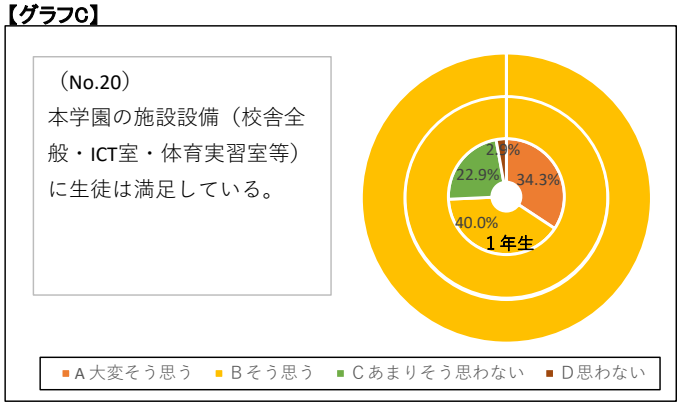
【表B】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
13	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	22.9%	74.3%	2.9%	0.0%	1.4
		2年生					0.0
		3年生					0.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生					0.0
		2年生					0.0
		3年生					0.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	25.7%	62.9%	11.4%	0.0%	1.3
		2年生					0.0
		3年生					0.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生					0.0
		2年生					0.0
		3年生					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	48.6%	45.7%	5.7%	0.0%	1.9
		2年生					1.0
		3年生					1.0
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	1年生	20.0%	77.1%	2.9%	0.0%	1.3
		2年生					0.0
		3年生					0.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	28.6%	51.4%	14.3%	5.7%	1.1
		2年生					0.0
		3年生					0.0



C　その他

【グラフC】

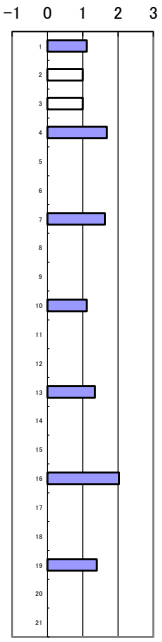


【分析・考察】

（1）設問20より、「本学園の施設設備（校舎全般・ICT室・体育実習室等）に生徒は満足している。」について、「大変そう思う」や「そう思う」の回答が74.3%。体育活動において、体育実習室がメインであり、コザ運動公園での自前ではない施設利用について、若干の制約があったためと推察される。勝連運動場の完成により「大変そう思う」へ移行していくことが予想される。コンパクトな施設を効率よく且つ充実度の高いものにできるよう工夫していく。（C-20）
（2）設問25より、「先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。」について、「大変そう思う」や「そう思う」の回答が100.0%。入学前段階から、個別相談会や面接入試を取り入れることで、生徒理解が進み同時に担任団制度が上手に機能していると考えられる。引き続ききめ細かな指導を心がけていく。

【表C】

No.	設　　問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	1年生	34.3%	40.0%	22.9%	2.9%	1.1
		2年生					
		3年生					
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	40.0%	54.3%	5.7%	0.0%	1.7
		2年生					0.0
		3年生					0.0
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	37.1%	57.1%	5.7%	0.0%	1.6
		2年生					0.0
		3年生					0.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	22.9%	60.0%	17.1%	0.0%	1.1
		2年生					0.0
		3年生					0.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	22.9%	71.4%	5.7%	0.0%	1.3
		2年生					0.0
		3年生					0.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	2.0
		2年生					0.0
		3年生					0.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	31.4%	57.1%	11.4%	0.0%	1.4
		2年生					0.0
		3年生					0.0



調査結果と考察

8 沖縄高等学校

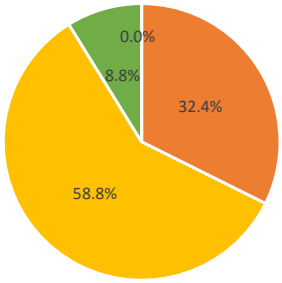
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝（A度数×３＋B度数×１＋C度数×（－１）＋D度数×（－３）÷（総度数）

（2）保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.8）
各種資格・検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。



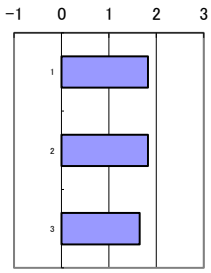
【分析・考察】

（1）設問8より「各種資格・検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。」について、「あまりそう思わない」が8.8%でした。1年次は資格取得というよりも、学び方を学ぶことや基礎学習に重点を置いたため、資格取得までにいたらなかったと考えられる。しかし、生徒の能力によっては、各種資格・検定に足り得る実力も持っていることもあり、積極的にはたらきかける必要がある。同時にICT系の資格取得に向けては着々と準備が進んでいるため、今後はこの割合が「大変そう思う」に移行していくものと考えられる。（A-8）
（2）設問12より、「本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。」について、「大変そう思う」が64.7%。担任団というシステムを十分活用し、情報共有も出来ているため負担感なく実施できていると考える。

【表A】

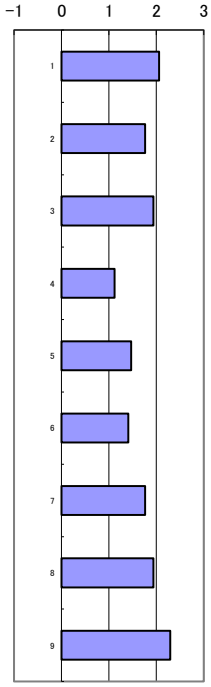
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	1.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	1.8
3	学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	35.3%	61.8%	2.9%	0.0%	1.6



Ⅱ 教育課程について

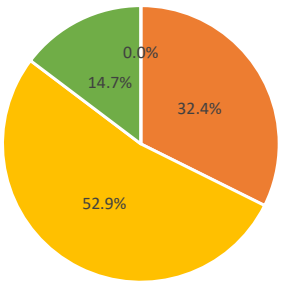
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	2.1
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	38.2%	61.8%	0.0%	0.0%	1.8
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	1.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等）を活用している。	23.5%	64.7%	5.9%	5.9%	1.1
8	各種資格・検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	32.4%	58.8%	8.8%	0.0%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後や夏休みの自主学習等）は、生徒の進路達成に役立っている。	26.5%	67.6%	5.9%	0.0%	1.4
10	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	44.1%	50.0%	5.9%	0.0%	1.8
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	50.0%	47.1%	2.9%	0.0%	1.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%	2.3



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

（No.18）
本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。

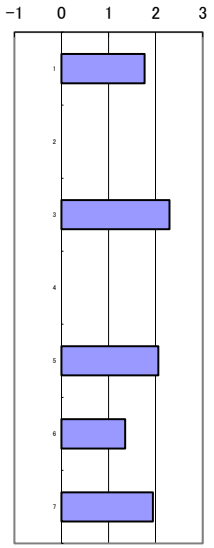


【分析・考察】

（1）設問18より、「本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。」について、「あまりそう思わない」が14.7%でした。1年次における英語の授業展開が「公文英語」のみであり、「グローバルな人材」と親和性が低かったと推察される。沖縄の特性である米軍基地が近いということを国際理解に結び付けられるよう工夫して展開していく。（B-18）
（2）設問15より、「本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。」について、「大変そう思う」「そう思う」で100%。ボランティア清掃活動については、月1回の地域清掃活動を基本として、保護者を巻き込んだビーチクリーンやゲート通り清掃活動などを展開しているため、このような結果になったと納得している。地域に根差した学校づくりをさらに推し進めていきたい。

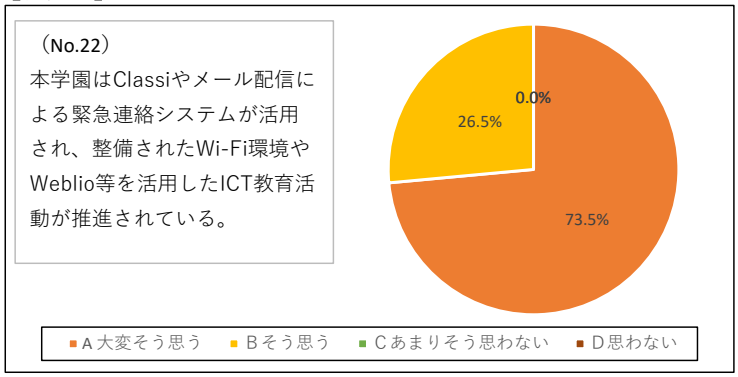
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	38.2%	61.8%	0.0%	0.0%	1.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。					0.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%	2.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	32.4%	52.9%	14.7%	0.0%	1.4
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	1.9



C　その他

【グラフC】

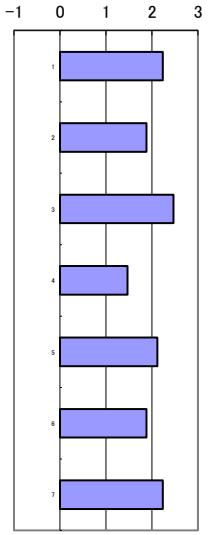


【分析・考察】

(1)設問22より、「本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。」について、「大変そう思う」が73.5%でした。保護者への様々な連絡事項は徹底的にペーパーレスを図り、出欠席もBLENDのシステムを利用しているため、「そう思う」も含めると100%となったことに十分な結果と言える。(C-22)
(2)設問23より、「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。」について、「大変そう思う」が26.5%でした。「そう思う」が70.6%と概ね良好とは言えるが、「大変そう思う」の割合を増やす必要がある。具体的には、進路目標を明確化し保護者との面談で還元していくことが必要だと考える。その上で、各生徒が何に取り組むことが必要なのかという手立てを個別に考えていく展開にしたい。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	64.7%	32.4%	2.9%	0.0%	2.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	44.1%	55.9%	0.0%	0.0%	1.9
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	73.5%	26.5%	0.0%	0.0%	2.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	26.5%	70.6%	2.9%	0.0%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	55.9%	44.1%	0.0%	0.0%	2.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	44.1%	55.9%	0.0%	0.0%	1.9
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	61.8%	38.2%	0.0%	0.0%	2.2



調査結果と考察

8 沖縄高等学校

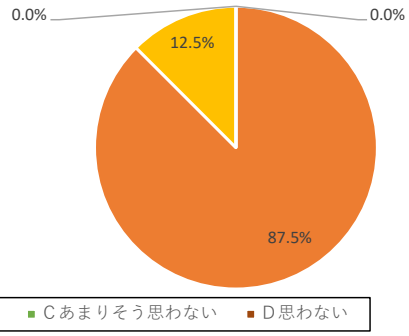
A：大変そう思う B：そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない
評価平均値＝(A度数×3＋B度数×1＋C度数×(－1)＋D度数×(－3)÷(総度数)

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

（No.1）
授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。

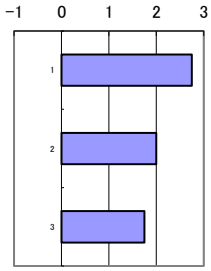


【分析・考察】
(1)設問1より「授業はオンラインの活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。」について、「大変そう思う」「そう思う」で100%。ICTを打ち出している本校としては当然の結果と言えるが、精度を上げるべく「大変そう思う」だけで100%になるようにさらに展開していく。(A-1)
(2)設問7より、「生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。」について、「あまりそう思わない」「思わない」が11.9%。保護者に対して進路関係のイベントがあることの周知されていなかったと同時に校内での進路イベントそのものが少なかったことが原因と考えられる。様々な学校行事と進路が結びついている、という情報発信をしっかりと行う必要がある。

【表A】

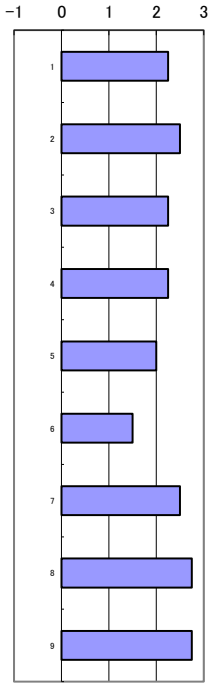
Ⅰ 授業について

No.	設　問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	2.0
3	学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	1.8



Ⅱ 教育課程について

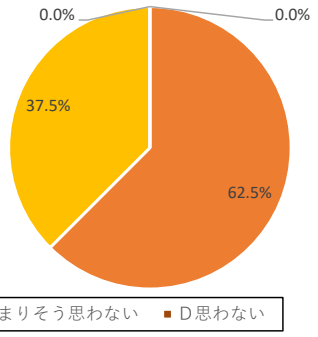
No.	設　問	A	B	C	D	評価値
4	個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属している本校の学習に満足している。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
5	教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
6	個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、学外の「進路イベント」等)を活用している。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
8	各種資格・検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後や夏休みの自主学習等)は、生徒の進路達成に役立っている。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	1.5
10	本学園が実施している定期考査・評価期間・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるように工夫されている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
11	先生方は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

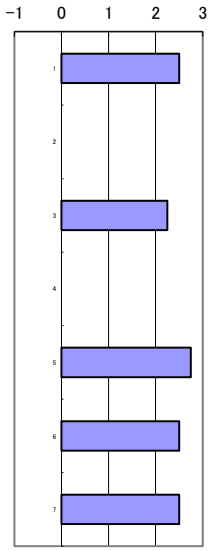
（No.15）
本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。



【分析・考察】
(1)設問15より、「本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。」について、「大変そう思う」が62.5%。地域清掃活動が生徒主体で行われることや、課題点などを生徒自身で見つけられような仕掛けづくりが必要だと感じた。次年度以降に向けてブラッシュアップしていく。(B-15)
(2)設問17より、「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。」について、「大変そう思う」で87.5%。宮城県本校から赴任した先生方からの情報提供や取組みが功を奏していると考えられる。沖縄にあっては未成年の飲酒問題や米軍関係者の飲酒など課題が多く、飲酒運転についても同様と思われる。引き続き関係機関と連携しながら進めていく。

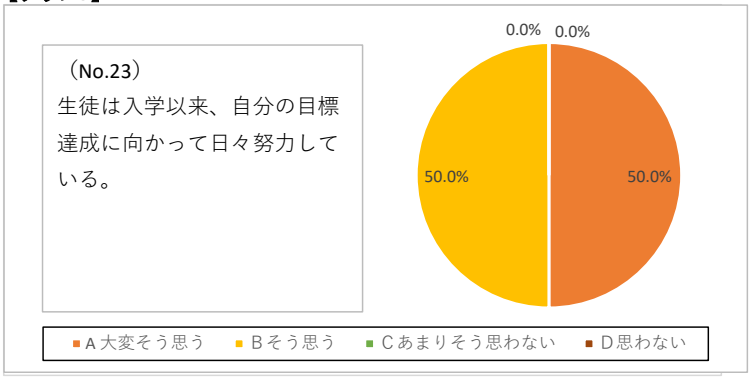
【表B】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。					0.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。					0.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
18	本学園の「国際バカロレアのプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」「公文英語」等は、グローバルな人材の育成や国際理解の教育に効果的である。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5



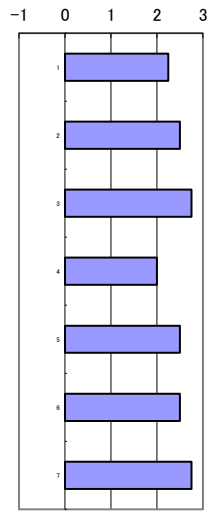
C　その他

【グラフC】



【分析・考察】

(1)設問23より、「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。」について、「大変そう思う」が50.0%。現在の1年次在校生は、中学時代からの様々な背景があり、目標設定そのものが未達であることが伺える。「大変そう思う」が少なくとも7割を超えるような目標設定を行いたい。(C-23)
(2)設問22より、「本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。」について、「大変そう思う」が87.5%。この結果は、保護者の結果とも相対しており、保護者・教員のそれぞれの意図とコンセプトがしっかりとマッチしていると考えられる。引き続きICT教育活動推進に取り組んでいく。

【表C】

No.	設　　問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎全般・ICT室・体育実習室等)に生徒は満足している。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	2.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
22	本学園では、BLENDやSlack、Googleクラスルームによる緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やSurfaceを活用したICT教育活動が推進されている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	2.5
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	2.8